恩師を庇ふ純情でも 怪死の謎解けず

教育界へ贈る兒童制裁の參考資料

愛の鞭を繞る悲劇

【新義州】一兒童の死因を繞って平北教育界に起された不祥事件が新春早々明るみに出た、しかもその中には瀕死の病床にあって毆打された師を庇ふいぢらしい兒童の〃師を思ふ〃佳話さへ秘められてゐた事件は―平北雲山郡北鎭面金鑛一の次男北鎭公立普通學校二年生金明鍊君が去る十一月九日學用品を忘れて登校した爲め受持の金元基訓導から叱責され三時間も立たせられた上大腿部を數回毆られそれが原因になって明鍊君は十二月十四日遂に死亡したといふのである、死亡の數日前金訓導も病氣見舞に同君を訪ねたが激昂した父兄、親戚、部落民らは「この兒の病氣はお前が爲た、お前がこの兒を殺すのだ」と打ってかゝらうとしたのを病床の明鍊君は「私の病氣は先生に叩かれたためではない、先生を打って下さるな」と庇ったのであったけれども明鍊君は十二月十四日遂に死亡し、激昂した地方民は「金元基を殺せ」と騒ぎ出したので事の危險を感じた金訓導は京城に逃れてゐたが北鎭署では捨てておけず死體を解剖に附し嚴重調査の結果、死因は大腿部の毆打ではなく腦出血によるものと判明 腦出血は當日友人と相撲をとって倒れたゝめと判った、しかし僅か十才の兒童を學用品を忘れたからとて三時間も立たせて撲で毆るなどは非常識であり平北教育界の不祥事件として囂々たる論難があり金元基訓導はこの程辭表を提出、警察でも傷害罪として送局した

まことに遺憾 學務課長の話

右北鎭普通學校の不祥事件に關し原口學務課長は語る

事件の起つたことは甚だ遺憾ですが、一般に誤り傳へられたことは更に遺憾でした、學校と警察の調査の結果は毆打が原因ではなく、當日同級兒童金某に相撲をやらせ倒れて腦出血を起したのが原因であることが明瞭になりました、訓育も經驗をとるといふ立場から必要なことはありますが兎も角こんな風なことになっては本人の訓導にとっても氣の毒ですけれど辭表は受理して辭めさせました

新義州の火事

【新義州】十日午後七時十三分頃府内眞砂町七丁目洋品雜貨商廣信氏方から出火し、同家屋と隣接の廣氏倉庫を何れも半燒して鎭火した、損害約一萬五千圓原因調査中

若い燕と逃避行

【大邱】慶山郡慶山面中方洞酒類販賣業金敬女(三九)は昨秋十一月廿日頃郡高面成休永(二九)と内縁關係を結び、前記場所に飲食店を開業させて貰ったがその後同店へ足繁く通ふ客の同洞申且甲(二)と懇ろになり、兩名共謀の上十二月末日成が大邱へ出かけて留守中に賣揚金百八十二圓を窃取、手に手を取って戀の道行と洒落れ込んだが、程經て歸宅した成はそれと知って警察署へ訴へ出たので兩名を搜査の末一月九日金を達城郡玉浦面千京洞金他官方で又申は府内京町一ノ一九四木方でそれぞれ逮捕した

積荷を賣飛し 運賃を横領

悪船長と機關長 約二千圓の被害額

【統營】下關市大字西山回漕店所有機動機船八幡丸の船長牧之瀬正藏、同機關長中谷作次郎の兩名は共謀の上客臘十一日江原道長箭咸北雄基社宛に送った食鹽千俵の運賃八十圓を横領費消する一方長箭の三菱商事會社から同社大連出張所宛に運送を頼まれた生鯖千二十八樽のうち一部を同月二十七日釜山で賣却し更に同日統營に入港、同樣生鯖を賣却して料理屋で大散財してゐるところを統營署の岡野、金兩刑事が逮捕したが被害額は約二千圓に上ってゐる

運轉手の狼狽から 水田中へ突入

逃げ場を失ひ乘客悉く死傷 當局取締に乘出す

バス全燒詳報

【光州】八日午後四時半長興發全南自動車株式會社所有全南第一九〇號大型バスは定員十九人乘りに十三人の客を乘せ運轉手申東錫が操縦して長興郡大德面に向つた際突然長興郡安良面水吉里路上にて火を發し乘客中の六名の燒死者を出したとは既報の通りであるが、疾走中の自動車から火を發し、而も多數の犠牲者を出したことは近來にない椿事なので道保安課ではこれが原因について徹底的に糾明すべく光州地方法院檢事局の臨檢を受けて詳細に取調べ中であるが、十一日まで判明した調査に依れば

同日途中乘りの客某と賃金の問題で運轉手と口論があつた後某が運轉台の左側のシートに腰掛けて煙草に火を付けんとしたところ興奮の餘り〃煙草を喫つてはいけない……〃と右の手がハンドルを握り左の手でその火を拂つたのが停留所を出る際タンクにガソリンを入れながら下にこぼれたのを知らずその上に水を撒いて掃除をしたゝめ下の一面に浮遊してゐるガソリンに火がついたのを乘客某が發見足で揉消したがそれが完全に至らず後からまた火が起り運轉手がストップして消火の措置をとったら十分消火し得るところを狼狽してそのまゝ進行をつゞけ水溜りの田圃を見つけ火を消す積りで田圃にハンドルを切り自動車が顛覆すると同時に運轉台の左側にあるたつた一ヶ所の出入口が塞がり、一方ガソリンタンクがひっくり返りパッキングがなかつたゝめガソリンは一度に放出し、見る〃うちに猛火にボディ全體は包まれ、漸く運轉手が運轉台のグラスを蹴破り先に飛出しそれからつゞいて前方に乘った乘客七人のみが飛出し後方の乘客六人は火達磨となって無殘にも燒死したのである

この自動車のボディは釜山市川ボデイ製作所の製品であるが、これに鑑み全南道警察局では唯一の交通機關として漸增する需要に從ひ從來の小型から漸次大型へ〃と變つて行くバスの構造、その他運轉手が乘客と賃金の問題から口論を始め興奮を覺える原因即ち自動車賃金等に關してこの椿事をきっかけに各自動車會社の賃金制を幾分下げるべく目下考案中であるが、延いて自動車のボディも可燃性のセルロイド窓、運轉台に僅か一ヶ所しかない乘客の出入口、車内にゆとりがなく乘客滿員の時は通行が出來ない程お互に窮屈を感ずる點等が將來大いに考慮されるべき問題となってゐる(寫眞は丸燒けの燒殘自動車)

破戒僧一味 三名とも送局

【咸興】破戒僧 錦州寺法務(會計)張鍾濟・咸興府内能仁學院會長安淑用・咸興郡内開心寺許鍾の三名は咸興署に留置取調べ中のところ三名とも十一日身柄拘束のまゝ一件書類と共に咸興檢事局に送致された、右三名は何れも住持の職にあるのを奇貨に寺有財産、小作料、經費、授業料の横領消費したもので張鍾濟は昭和九年初旬から同十二年まで前後七回に亘り千百三十五圓、安淑用は昭和十一年十一月から同十二年末まで七回に亘り千二百三十圓、許鍾は昭和十二年七月初旬から八回に亘り二千百卅圓を横領消費したものである

盗んで遊興

現金三百四十圓を筆頭に 前科者つひにお縄

【大田】春日町三丁目飲食店前科一犯柳伊非平畜撰は十七日午後十一時半頃春日町二丁目貸金業商辛一某方店舗に侵入し現金三百四十圓を窃取逃走 同二十日論山郡彩雲面中里自轉車商金進時方から一台四十圓五十錢の自轉車を買受け同人を伴つて論山食堂で二十圓餘の散財をなし、次いで二十一日は連山で二十九圓餘の飲酒の外數ヶ所で遊興して全額を費消したる外、大田北町金炳泰と共謀の上六回に亘って數百圓の窃盗を働いた、十日大田署刑事に捕はれ餘罪取調べ中である

店員と娼妓 主金を拐帶 船で高飛び

【釜山】府内西町二丁目武力業安西商店の店員廣吉芳之は昨年春から馴染みとなった牧の島遊廓九月樓娼妓こと野口シ(二八)と手を取り合つて東京の主家の金六十餘圓を拐帶し十日朝出帆の連絡船で下關へ向け高飛びしたのを手配により船内で取押へられ十一日朝釜山へ送り返された

落盤で坑夫慘死

【平壤】十日午前九時頃大同郡龍山面原岩里栗田鑛業會社第一鑛區地下十三米突の地點で落盤があり鑛夫金京淳は頭部强打即死を遂げた

平南號に集る赤誠

献金實に廿五萬圓を突破 近く献納の手續き

【平壤】今次事變勃發以來百五十萬平南道民は擧つて國防獻金に或は慰問品に勇士の家族救濟に涙ぐましい銃後の赤誠を現はしてをり、更にその燃える赤誠は愛國機平南號獻納運動に延長 期成會を組織して府郡中であつたが同會に對する道民の熱誠からなる資金は潮の如く殺到 八日現在豫定の十九萬圓をはるかに突破し廿五萬圓を超えるに至つたので同會では近く資金募集を打切り、平南號一臺その他數臺の國防資材の献納手續をとることになつた

借金苦から自殺

【定州】定州郡大田面鎭田洞金學元さんの長男金格鳳は去る九日午後九時頃多量の「猫いらず」を嚥下し苦悶してゐるのを家人が發見し邑内醫院に擔ぎ込み應急手當を施したが遂に翌朝五時半頃絶命した原因は舊臘年末を控へ飲食代七十餘圓の負債を苦にしたものである

託送金の雲隱れ 沙里院の怪

【沙里院】去る八日某氏が西沙里院驛に託送の一千圓餘が寸時の間に亡失し沙里院署で極力犯人捜査中であるが十一日までには發見されるに至らなかつた

瑞興産組書記 公金を着服

昨年七月から一千餘圓 發覺を恐れて逃走

【平壤】黄海道瑞興産業組合書記金玉は昨年七月頃から十二月末までに同組合の小麥、豆、玉蜀黍の共同販賣代金並にその手數料を綱羅的に費消して一千六百卅一圓の大穴をあけ抜き差しならぬ窮地に陥ちいつたため三日所在を晦ました、同組合では前記不始末を金の逃亡後知り郡へ出たので關係當局では目下嚴重各所に手配し搜査中である

胡副領事引揚げ

【釜山】北支新政權に參加せず家族同伴本國引揚げの元山支那領事館の胡濟川副領事は十一日朝入港の郵船新京丸で寄航、同日午後出帆の同船で神戸に向つた

情ないお家騒動

組合長選任難の鎭南浦産組 揣槍で總會お流れ

【鎭南浦】一昨年十二月吉岡組合長辭任後の鎭南浦産業組合長後任問題は一部職員を交へた運動派排斥派の波瀾を經た末、昨年七月の總會決議多數の件、昨年八月の總會決議による詮衡委員會で中田敬三郎氏を推薦したが中田氏が受諾しないため引續き缺員となってゐた處最近一部組合員より至急總會を開き組合長を選任すべしとの切なる要求があり、よって組合では過般評議員會を開き慎重協議の上遂殷義一氏を組合長最適任者と意見一致し同氏の内諾も得たので一月十三日に總會を開催に決定したが販賣政策上の惡影響と總會當日の紛糾を憂慮して多數組合員の同意諒解を得べく事前工作を進めつゝあつたがこれを知つた一部組合員間では

組合長候補者の適任、不適任は暫く措くとして、評議員會で組合長候補を選ぶなんて全く越權であり若し評議員會の意志通り選ばれるものとしたら總會は形式に過ぎないことになる

とて斷然評議員會の態度に反對を唱へ、別に葛川の金炳奎氏を推したてゝ總會の組合長選擧に臨むことになり猛運動し組合では十日午後評議員の懇談會を開き對策を練り十三日の總會を無期延期に決定した、一方、總會は一時延期してもいづれはきめねばならぬ組合長、一體どんな人を持って來れば好いのか?一般の意見では販賣方面は專ら理事に任せることにして、組合統制上どうしても府尹に出馬して貰ふのが最上であるとの意見に一致してゐる、組合としても既に府尹に交渉したこともあつたが府尹は極力これを辭退して組合員中より人選することを望んでゐる

困つたもの 瓜生理事の話

昨年八月に詮衡委員會の詮衡による中田敬三郎氏がどうしても就任を受諾してもらへないものですから困つて居りましたが、恰かも林檎の販賣時期でもありこの方に手落があつては申譯ないとの心配もなり、上司もお前は專心販賣に力を注いで總會はもう少し暇になつてからやれとの御注意もありましたので組合長缺員のまゝ鋭意販賣に全力を盡してきました、幸ひ今迄のところ好成績を擧げてゐます、ところが昨年十二月頃某組合員から『是非總會を開いて至急組合長を選擧して貰ひたい、若し組合が總會を招集しないならば自分達は規定に從ひ半數以上の組合員の同意を得て總會開催の要求をする覺悟がある』と手強い申出がありました、早速上司とも御相談しましたところこの前のやうな紛糾を繰返さない用意があるなればやってよからうとの御意見でした、總會の紛糾を決して恐れてゐるのではありませんがかうしたゴタ〃が色々に間違へ傳へられたり惡用されたりして販賣上に惡影響のあることを既に經驗して居りますので出來るなら販賣期間を終つてから總會を招集したい意向でしたがさうこちらの都合ばかりも申してゐられませんので昨年十二月に評議員會を開き内地人四名鮮人四名の委員を選び慎重協議の上遂殷義一氏を組合長候補に推しました、遂殷氏も熱誠の上評議員會の懇望を受けて下さいました、かうした事前工作は傳へられる如く野心あつてのことでなく總會の紛糾を避けること折角選擧しても中田氏の場合の如く受けて貰へなくては困ること等を考慮してのことです、このまゝ押切つて總會をやつては好い譯ですが警察からもこの前のやうに紛糾の兆ある場合は斷乎解散を命ずるからとの注意もあり、又たとへ總會でどなたが選ばれるとしてもこゝに至つては容易に御引受け下さるまいと思ひます

無理强ひ排撃 反對派の見解

組合長候補として金炳奎氏を推し總會に望まんとしてゐる一派の見解は次の通り

自分達は決して遂殷氏を不服といふのではない、總會で選ばれた人であれば我々は絶對服從してゆきます、然し今度の場合のやうに越權にも評議員會できめた候補者を無理押し付けにせんとするのはどこまでも贊成出來ません、我々としてはどこまでも反對の態度で望みます金炳奎氏を推したことも別に野心あつてしたことではありません、金氏にしても喜んで引受けられたものでは無論ありません、我々の懇望と、我々の立場を諒解されて漸く決心して貰つたまでゞす

警官を装ふ強盗

報恩署の活動で その日の中に逮捕

【清州】十一日午前五時頃報恩郡三升面仙谷里辛正用方にカーキ色の青年服に鳥打帽を冠つた一怪漢が侵入し、主人に懐中電燈を突きつけて報恩警察署の警察官と名乘り取調べのためと稱して現金三十九圓を出させ、それを强奪逃走した事件が發生したが、これに先立ち同日午前零時半頃同郡炭釜面上長里德五方にも右同樣の怪漢が侵入、幸ひ被害はなかつた、所轄報恩署では右兩事件は同一人の犯行と睨み、犯人の足取りを追つて追跡、同日午後一時頃荒稼ぎの現金を懐中にして報恩、沃川間道路を自宅へ急ぐ犯人、沃川郡安南面玉德里無職、辛鳳默を安南面仁浦里地内で逮捕した、犯人は當恣前科三犯を有し、昨年大田刑務所を出獄した札附である

同女は咸興に生れ約七、八年前から花柳界を轉々しインテリ妓生として又ギターが得意で一時は相當鳴らしてゐたが二十六ともなれば既に姥櫻で昔のやうな人氣はなくそれにモルヒネ中毒で身を崩し約三週間前身賣りされ娼妓稼業に落魄したものである

友人を撲殺

酩酊男の醉興喧嘩

【平壤】平原郡順安面社稷里一九六砂金會社人夫金求鉉は八日午後八時頃同里一九三番地砂金鑛夫と飲酒中些細な口論から喧嘩となり棍棒で金の頭部を强打即死せしめ逃走中十日朝安州郡安州面で安州署員に逮捕された

無免許入齒師

【平壤】府内橋口町一三尹在默は多少入齒技術の心得のあるところから昨夏來黄海道長淵郡邑内で無免許入齒を一人宛一枚一圓五十錢位で引受けてゐたが漸次技術も向上したので平壤に入り込み十月頃無免許入齒營業を始め右を平壤署員に探知され十日檢擧された

九人組の無頼漢 通行人に暴行

【鎭南浦】府内碑石里一九船長金方に宿人船夫梁能洙と韓有祚外七名は十日午後十一時頃碑石里源田所兄弟洗濯所前で通行中の某を捉へ共謀して亂打し制止した同里某氏にも重傷を負はせ加害者は直ちに南浦署に檢擧されたがその間の事情については犯罪性ありとし目下取調べ中

ナンセンス 桃色騒動の巻

【咸興】府内檢番の妓生たちは九日券番社長金源氏に六ヶ條の要求書を突きつけて排斥の氣勢をあげたが十日咸興署で取調べたところによれば殆ど根も葉もない中傷で社長の椅子を窺ふ黒幕の策動に出たものらしく柳眉を逆立てゝ詰めかけた妓生たちも案に相異したことの成行にしよく〃決議書を撤回して閉幕

幼兒を轢殺

【平壤】十日午後六時頃陽谷自動車商會運轉手金東寶は平南第一七四五號トラックを運轉して疾走中府内新陽里ライト自動車工場前で同里一七九提諸員長男泰得を轢き倒し頭蓋骨を粉碎即死せしめた 運轉手は直ちに平壤署に引致し目下取調べ中

落籍の名妓 前借を踏倒す

【吉州】邑内明月館娼妓成銀波は八日前借一千百圓を踏倒して何れか逃走し新春早々花柳界の話題を賑はしてゐるが逃走先も大體目星はついたもの〃如く館主は九日追手を咸興に急派し捜査せしめる一方吉州署にも捜査願を提出した

安東の水道

水源地もないばかりに 結局料金を値上げ

【安東】滿鐵附屬地行政移讓に當つて安東の水源地だけは移管されなかつたゝめ、安東市公署の水道經營事業は『水源地を持たぬ水道經營』といふ片手落なものとなり、水道經營上に幾多の難問題が生ずるに至つた即ち市は滿鐵の水源地より供給される水をまづ買ひそれを市民に賣るといふことになり、この水を買ふ經費が今までの經營より餘分に喰ひ込み、滿鐵地方事務所時代より一段と窮屈さを加へて來た點で、市公署ではこれが對策について島田、永井兩科長が去る七日午後打開策に就て種々協議を重ねたが、結局近く水道料金を値上げするのではないかとみられる

密航の一團 送り還さる

【釜山】十一日午前十時入港の釜博連絡船博多丸で長崎縣水上警察署から妙齡の女も混る一團四十六名の密航群が送還されて來たので水上署で一應取調べの後本籍地へ送り還へしたが、一行は十五圓から七十圓までの密航手數料を捲き上げられて去る七日夜十時頃府内松島海岸甘川里から發動機船に乘り込み密航したものと判明した

電車と衝突 車挽き重傷

【釜山】十一日午前九時廿分頃府内中島町富民普通學校前を進行中であつた北行電車八十號が前方を横斷せんとした荷車と衝突し車挽き朴武任は肋骨々折の重傷を負ひ大坪病院で手當中

少年掏摸御用

【大邱】十日午後十時頃府内徳山町派出所巡査が管内巡回中擧動不審の少年を發見、誰何するや矢庭に逃げ出すのを引捕へた、右は義城郡春山面生れ金在鳳で同日午後六時頃三笠町道路上で通行人から現金八十餘圓を掏摸つたことを自白した

泥棒

【鐵原】府内旭町二四果物商申教善は十一日午前三時頃後浦里方斗女方の塀を乘越えて侵入せんとする處を警官に取押へられ取調べの結果數件の泥棒と判明した

石造半肉彫金剛力士像（前漢一統時代）

趣味と學藝

今晩のラヂオ

六時兒童劇（名）名古屋金の城こども會▲六時二五分連成支那語講座（東）▲七時三〇分國民唱歌指導（東）譚時定之▲七時四〇分講演（京）理學博士駒井卓▲八時長唄（釜）杵屋六榮衞▲八時二五分室內樂（東）宮田清藏外▲八時五五分ラヂオ小說（東）汐見洋外

異說 俗說 迷信 を生む 氣紛れ双兒の出產【下】

面白い連身のはなし二三

・日本・では毎年一萬内外の双子が生れるはずである、双兒の男と女の數の比は、人口動態統計を示す一般の男女の數と同樣に女百に對して男は百四人乃至百五人である、日本では要するに双兒でも男の方が女よりも多く生れる

一卵性双胎は若い母から多く生れ、二卵性の方は年取つた母から餘計生れる、どちらも子供の多い母から生れることは確である

次に双胎の兄弟姉妹であるが、これは昔から色々のことが傳へられてゐる、多くは先生を弟又は妹とし、後生を兄又は姉とする考へが多い、その理由としては姙娠したものが子宮の奥に入るから生れる時は後になると云ふ考へに基くものが多い樣である、民法上の解釋によれば私權の享有は出生に始まると云ふことから、先生が兄又は姉なることは議論の餘地がない

これは定說であつて、これが必ずしも早く受胎したか否かの問題とは自ら意味が異なる、日本の歷史を見ると既に古い昔に於て一卵性を孕とし二卵性を孕として區別してゐる、そして學には兄弟の分ちなしと論じてゐる

・次に・一人の女の生む子女の數であるが、一般一人の女は最大限度何人の子を生み得るかは面白い問題である、凡そ一人の女の兩方の卵巢中の卵の數は最も多い時には何十萬とある、ところが假に十五歲から四十五歲まで毎月一個宛排卵したとしても三百六十個しか排卵されない、然るにこの三百六十個の中の何個が果して精子と會つて個體となり得るか、更に受胎したからとて必ずしも分娩されるとは限らない、何割かは姙娠の途中に流產又は死亡し退化の道を辿るのもある

假りに一人の女が一生に五回姙娠したとすれば姙娠期中は排卵がやむために排卵は三百となつてしまう、一人の女が毎年一人宛生んでも三十人である、世界中での子福者の母としては最近キユバー島の一婦人が二十一回に五十七人、卽ち双兒を十回、三つ兒を七回、四つ兒を四回生んだのであるが、これが今日での最大記錄であらう

最後に一卵性双兒の由來損ひ、卽ち癒合双胎に就て面白さうな例をお話してみよう、これは古くは連身の双兒と言ふ名がある

・第一・例は極めて有名なもので、名はカンク及びエングの連身である、生れてから六十三年間幸福に暮したもので、この連身の父は支那人で、母はシアム人であつた、連身以外の同胞は皆健康なものばかりであつた、この二身一體はよく調和のとれた平和な生活をした然し二人の日課は別々で一方が讀書してゐる間他方は來客と話したり、又寢いたりもした、呼ばれた時は一方だけが返事をした食物に就て面白いことには一方は酒が好きで、一方は嫌ひであつた、仲のよい二人はただこの酒の事だけでは意見の相違を來して爭ひのもとになつた、脈搏も呼吸も病氣も別々であつた、年頃になつたので連身の二人は二人の女と結婚した、結婚後九人の健康な子供が生れてゐる、晩年、一方が肺炎がもとで死んでしまつた、ところがその後二時間にして一方も死亡のために死んでしまつた

第二例はフイリッピン名物の男進の一組の背中合せの連身の畸形で、先年日本へも立ち寄つた筈である、これはマニラの富豪ヤンコ氏がよく面倒を見てくれたのでヤンコ双兒の名がある

二人共年頃になつて結婚を希望して二人の花嫁が見出されて、マニラ市役所に結婚屆を提出した、面喰つたのは市役所で、色々詮議の結果、一人の連身が二人の女と結婚するのは二重結婚であるとの理由で屆出は却下された、然しその後ヤンコ氏夫妻の努力によつて願が叶つて晴れての結婚が出來たとのことである

・第三・例は三年前、ニユーヨークに起つた女同志の背中合せの連身の畸形である、妙齡となつて連身の一方は若年音樂家と婚約が成立して、ニユーヨーク市長宛に結婚願を提出した

ところが市側での色々協議の結果、このやうな片輪者に結婚を許すことは道德に反くといふ理由で却下された、花嫁と花聟とは大いに憤つて上級裁判所に控訴した、一方姉の問題をよそにこれに負けじと妹の方も拳鬪家と戀愛に夢中になつた、辯護士は一人が病氣で發熱四十度に及んだ時なども、一方は病氣にもならず、それどころか至極元氣であつたことなどから完全な二人の存在であると主張した、果してどう裁かれたか判らないが、興味が深い話でもあるが、哀話でもある（筆者は慶大教授、醫博谷川虎年氏）

大家屋消失せる

コロラド州のウエルセンブルグで大掛りな泥棒が當局を呆れさせました

と云ふのは煙突もあれば立派なポーチもあり、部屋の數四つもある家屋が一夜の中に盜まれ、消えて無くなつて仕舞ひました、燒けたのでもなければ、旋風に捲き上げられた樣子も無く警察當局では驚き呆れ乍らも當該家屋の搜査に乘出したが、實にアメリカらしい話ではありませんか

萬歲　千秋莊光映

飛魚は飛ばない

『飛魚は果して飛ぶか』米國科學促進協會機關紙『サイエンス』は茲數年來この問題について熱烈な論爭を繰返してゐたがこの程ニユーヨーク水族館のブレーダー博士が『飛魚は斷じて飛ばない』と研究の結果を發表してこの論爭に止めを刺さうとしてゐる

博士は曰く

飛魚はこれ迄空中を飛ぶものと考へられてゐたが飛魚の骨骼、筋肉を解剖した結果これが全く誤りであることが明かになつた、第一飛魚には翼を動かすに必要な發筋肉が無く、それを支へる胸骨もない、それで飛魚は尾鰭を急激に動かして空中に飛上がり翼を上げて暫くの間グライダーの樣に滑翔するだけで本當に飛んでゐるのではない、飛魚が時々空中で方向を代へるのも風の壓力でさうなるので自分でカーブを切つてゐる譯ではないのだ

不連續線　國花

日本の國花は櫻であるが、やゝもすれば、皇室の御紋章たる菊花を國花であるかに誤認するものがないではない。

これは、滿洲國皇帝の御紋章は蘭花であるが、その國花は高粱となつてゐるのを見てもわかる。

國花といふものが、その國の國民性を表徵するものであること、日本の櫻の示すが如くであるが、世界各國の國花をたづねて見ると英國は薔薇、フランスは百合、支那は梅、メキシコは仙人掌、ドイツは矢車菊、伊太利は雛菊、スペインは橘、エヂプトは蓮、印度はケシといふことになつて[illegible]

櫻の花の散りぎわの潔さは日本の國民性を寫してゐる[illegible]れば、美しさ中にもトゲを[illegible]ゐる薔薇が英國の國花で[illegible]探く、伊太利の雛菊、[illegible]車菊が、共に楚々たる中[illegible]恐れぬ東洋的な親しさを[illegible]るのも面白い。

暗香浮動の句によつて[illegible]ゐる梅が、支那の國花で[illegible]だけは、これを以てして[illegible]が文字の國、見かけ倒し[illegible]ることを頷くのみである。

☆☆ 試寫座談會 "どん底" ジャン・ルノワール作品 ☆☆

出席者　中村兩造氏【城大教授】▲溝口正氏▲藤井誠一氏▲浦野元氏▲本社記者【田所、野本、太田】

【記者】中村さん、芝居の『どん底』は御覽になりましたか？

【中村】もうずつと前、築地で見ましたが、だいぶ記憶がうすれてゐます、たゞ芝居では非常に暗い感じがしましたが、この映畫の『どん底』は非常に明るい感じを受けました

【記者】この映畫は原作戲曲とは非常に變つたものになつてゐます、結末などペペルとナターシヤを希望の涯へ送り出してゐます、一九〇二年の原作に三十年後の現在の息吹きを與へたものといへませうが、この映畫の監督者ルノワールはゴルキーの生前改作シナリオを提示してそのオー・ケーをとつてゐるといはれます

【中村】私などには氣のつかない時代のギヤツプがあるのでせうとにかく私は非常に面白く見ました、もう一度見たいと思ふ

【記者】ところでルノワールの演出はどうお感じですか

【浦野】全く整然としてゐますね、カット〳〵の積み重ねが實にキチンとしてゐる

【溝口】短い場面が非常に豐富な內容をもつてゐるやうに思ひます、これは俳優の演技のすばらしさにもよりませうが……

【野本】ルノワールは畫家のルノワールの息子ださうですが、さうした點があらゆる場合感じられる、男爵のペットの背景がニユー・ルネッサンス風なところなどよいと思ひましたし最初の場面で男爵がしやべるところがありましたがあの背景にあつた額の繪など一寸ほしくなるやうな素晴しいものだつた、畫面の構成も綺としてすぐれてゐると思ひました

【浦野】役人が木賃宿の戶口のところでナターシャを口說くところがあつたが、その戶口の外のガランとした街路に鬼ゴッコをする子供を配してゐるあたり、すつかりすきのない構成、あそこの雰圍氣がゆたかに迫つて來る、すべてさういふ風でした

【記者】男爵とペペルが野ッ原で話つてゐるところがありましたが、男爵が手の甲にかたつむり（？）を這はせてゐる、あすこはよかつた

【溝口】あのかたつむりは男爵の氣分をよく出してゐたと思ひます

【藤井】ルノワールに接するのははじめてだけれどとにかくすばらしい、次の作品が待たされますね

【記者】『大いなる幻影』が近く來ます、これは『どん底』よりも一だんとすぐれてゐるといふ評判です、次は人民戰線映畫の『ラ・マルセーズ』を製作中と聞きますが、ルノワールも、フエデ、クレール、デユヴイヴイエと並んで佛蘭西第一流映畫作家として登場したわけで、今後大いにたのしめる人でせう、それから音樂はどうでしたか

【藤井】『どん底』をたのしく見られた一つの原因はやはり音樂のよさにあると思ふ、變化に富んで場面轉換とよくマッチしてゐた

【記者】はじめの川と終りの伴奏は同じものを使つてゐましたね、あれは非常に興味があると思ふ

【浦野】酒場で女が唄ふ泥棒の歌もよかつたですね、あの歌とペペルを結びつけた演出など大膽だけど効果をあげてゐた

【記者】さて、役者ですが……

【中村】どれもこれもよくてさて誰がといへないくらゐです

【溝口】僕はジャン・ギヤバンのペペルに感心した

【藤井】男爵がいゝ、ルイ・ジユーヴエは『女だけの都』の坊主もよかつたが今度は壓倒的だつた

【記者】結局あの男爵は映畫『どん底』では重寶に使はれてゐて司會者のやうな形になつてゐますが背景といひ演技といひ申し分ないですね、あの眼付など不思議な力をもつてゐる

【浦野】女房のワシリーサになるスユジー・プリムははじめて見る女優だけれどナターシヤのジユニー・アストールの清純さと對照して肉慾的な感じをよく出してゐたと思ひます、何だかフランソワーズ・ロゼエに似た感じもある

【記者】僕はロベール・ルヴイギヤンの役者が非常に印象に殘つてゐます、『ゴルゴダ』や『地の果』にも出ましたが名優ですね、ハムレットか何かの台詞をしやべるところがあつたが印象的だと思ひます

【藤井】アコーデオンを弾いてしりまわる男がゐた、あの役はむつかしいと思ふがとてもよかつたですね

【記者】とにかく名優の展覽會といひたいところですが、あれほどの連中をあれだけに自分のスクリーンのなかに入れて自由に動かしてゐるルノワールの演出力は流石だと感心させられます

【記者】演技はこれ位にして……この映畫のなかの台詞はゴルキーの原作、あの絢爛たる名文句が隨所に用ゐられてゐますが、その飜付字幕を讀んでゐるうちに場面の方がおろそかになり、僕は非常に觀にくい思ひをしました、二度目にはもつと樂に觀られると思ひますが……

【中村】私もフランス語がわからないので非常に殘念に思ひました、言葉がわかればあの『どん底』の人たちのかしましい叫喚はそれ〴〵の個性をよく現はしてゐるだらうと思ひました、それについて思ひ出すのはアメリカ映畫の『椿姫』で、この間あれを觀て非常に興味深く思つたのは、ガルボの台詞です、例へばガルボが『イエース』といふ場合、あの女優の體全體、髮のふるへ方にまで、その『イエース』が現れてゐた、とにかく言葉のわからないのは外國映畫の觀賞の場合非常に興味をそがれることだと思ひます

【記者】ではこの邊でどうもありがたうございました【十日夜、黄金座喫茶室にて】＝十三日から『限りなき前進』と共に黄金座に封切＝

颯爽たり我戰士　實業野球聯盟にこの光榮（上）

佐藤誠治

鮮鐵　野球部の至寶岡本君が名譽の戰死をされた。傷を負ひて野戰病院に入院右の腕を切斷したと云ふ話やら聯盟から慰問品を送らうと云ふやうな話を聞いてから何日目位だつたらう、鮮鐵の生んだ名遊擊手岡本君はまた名機關銃手として、勇敢なる帝國の軍人として、日夜勇戰敢鬪各地の激戰に赫々たる武勳を樹て遂に北支の華と散られた。想へば昭和九年半島球界の雄鮮鐵軍の遊擊手として陣輝强に出場、去年現役兵として入營されるまで六シーズン、守つては遊擊の難關を死守し、攻めては屢々一打よく大勢を決せしめる鮮君の鮮鐵軍に殘した功績は餘りに大きい、私の目には殊に昭和九年對殖銀決戰に於ける君の一打を忘れることは出來ない。鮮鐵軍の優勝は君の一打に依ると云つても過言ではあるまい。岡本君のやうに溫和な趣味な選手は珍らしい。無口でニコリともせず、やる丈の事は一生懸命やる選手、とても好きな選手だつたが……砲煙立ちこめ砲彈炸裂する北支の野で君は最後にニッコリ笑つて死なれたことゝ信ずる。

鐵道　軍からは山上君（捕手、二壘手）がやはり北支の野で奮戰してゐる。山上君も現役兵として入營中のところ今事變で北支の聖戰に出征されたのだ。君からは近日音信が無いとのことだが、君の胸は球友岡本君の復讐の念に燃え、拳を握り締めて敵の空を睨んでゐることだらう。

☆★☆

殖銀　淺原少尉戰傷の報を友人から聞いた時、長沙町の御宅に伺つたら御母堂が迎へて呉れて『色々御心配を御かけ致します。わざ〳〵御丁寧に有難う御座いました』とのみで息子の『む』の字も云はれないところ私は御母堂日頃の覺悟の程に感激して歸宅した。しばらくして經作ら歩いたと云ふ手紙が石家莊の野戰病院から來て戰傷した瞬間の模樣を知る事が出來た淺原監督は死球を腹に受けた、何でも敵の第一線、第二線を突破して逃げ行く敵を追擊してゐた時と云ふからチャンコロの首を五つ六つは叩き切つて一息入れてゐた時だらうし狙擊した敵もその邊にころがつてゐた敵の負傷兵か、狙をきめてゐた奴だらうと思ふ。文中に『……金鵄で背中をガンとやられた樣な氣がして足が言ふことを利かなくなつた。ドッカと其處に坐り服をぬいで調べようとするが力が拔けて手も利かなくなる、部下が走り寄つて來て手傳つて呉れた。左腹部をやられてゐる、とうとう俺の最期が來たと思つた。部下から煙草を一本もらひ續けざまに吸つたそして靜かに目を閉ぢた……』

淺原さんらしいなと思つ[illegible]時の煙草はどんな味がし[illegible]どんな煙が出たことだら[illegible]た。その煙草はきつと『か[illegible]であつたらうとも思つ[illegible]少尉は奇蹟的に命拾ひを[illegible]天津の○○病院で靜養中[illegible]十二月二十日附の手紙で[illegible]瑞を大要次のやうに傳へて[illegible]拜啓度々御手紙有難う[illegible]す、御陰樣で大變良く[illegible]の日も間近のことゝ思[illegible]今溫かいベッドの中に[illegible]出せば良くやつて來た[illegible]感心します、芋を嚙り[illegible]んで戰つてゐた時は[illegible]間たらうかと疑ひまし[illegible]頃は近くの溫泉に靜養[illegible]とになつてゐますが[illegible]一戰にゐる人達に相濟[illegible]な氣がします、小笠原[illegible]でやつてゐることゝ思[illegible]心配です、早川君も新[illegible]寒いことゝ思ひます[illegible]は一段落と言ふところ[illegible]凡人の淺間しさ、一度[illegible]い生活に入ると前の生[illegible]のことのやうに思はれ[illegible]樣に宜敷しく願ひます[illegible]た後程

殖銀の元氣者鎧さんこと[illegible]か臨時淺原君に續いて出[illegible]る。小笠原主將は○○隊[illegible]イトそのものの小笠原君が[illegible]かけて砲彈をブッ放し[illegible]んでゐる姿があり〳〵と[illegible]るではないか。右廻りしては[illegible]後を突き、左に廻つては[illegible]面を嘗め完膚なきまでに[illegible]しその度にあの髭の中の[illegible]ろばせて快哉を叫んでゐ[illegible]ない。太原攻略後は音信[illegible]元氣一杯北支の野戰[illegible]てゐること間違ないことだ

新刊紹介

流民（須田島一二郎著）　著者は京城中學出身の半島第二世で、さきに中央公論に『待避驛』を應募して當選した新人であるが、その處女作以後の『すなぐもり』『上陸』『流民』『白桃』等の五篇、そこに滿鮮を題材にした旅窓異族の情景がリリーフのやうに描かれ、特殊の作風を文壇に注目されてゐる、往年京城日報社が千五百圓の賞金を以て滿鮮を題材にせる長篇新聞小說を募集した時弱冠二十歲にしてよく佳作に入つたことは知る人ぞ知るべく、それが動機で文壇への野心をかきたてたといへば、滿鮮風物に異色ある神經を動かしてゐる最近の傾向もさこそと肯ける『すなぐもり』など特に陰影のある作で、少くとも京城人にはなつかしい作家の出現であり、また心惹かれる小說集でもある（四六判五十錢、東京市下谷區上野櫻木町二七砂子屋書房）

◇日本倉庫史（松本清著）本邦上古からの『くら』の發達沿革に關して豐富な資料を以て編み出された倉庫史でよし文獻にならう（二四三十錢、東京・豐島・雜司谷町七ノ一〇一六、大日本出版社峯文莊）

▲中國文化情報（新聞特輯號）非賣、上海佛租界福履路[illegible]科學研究所

國定忠次（くにさだちゅうじ）

（16）　長谷川伸作　岩田專太郎畫

老婆（五）

『どうしよう？才さん』

ジャガ竹が當惑して斷廻ってゐる老婆から眼を逸らすのを、才市が、

『風邪ひいた眼が痛いとは譯が違ふ、氣違ひに付ける藥はねえ』

『いくら氣違ひでも、親分を殺すなんて口走ってゐるが』

才市が深刻な息をつくと、ジャガ竹が、

『なあに氣違ひのいふことだよ、正氣ぢやねえから大丈夫だよ』

『正氣でねえから尙は氣になるんだ』

『あれッ、婆め又こっちへ來やがる。才さん、逃げちまはうよ』

『又馬鹿なことを云やがる、何をするか判らねえから眼が放せねえ』

老婆は往來に立ちはだかり、何が可笑しいのか、げらげら笑ひ、今にも立去りさうである。

『ジャガ竹。お前な、親分處へ行ってこい』

『今夜、親分はどこだか俺は知らねえんだよ』

『賭場だっていふのか。五目牛だらう。行ってこい』

『お德さんの處か。何だって行くのだよ』

『この始末を話してこい』

『ぢやあ、お前行ってくれよ』

『何。手前あの婆さんから眼を放さずにゐられるか』

『うン見張ってゐる』

『家へ火でも放けられたら大變だからな』

『行ってくる、俺、五目牛へ行ってくるよ』

『ぢや、行ってこい。親分にさういってくれ。婆さんを宥めて、寐かすやうにしますってた』

『才さん、矢ッぱりお前行ってくれ。俺が行っては叱られるに行くやうなものだよ』

『それぢや手前、婆さんを連れて行って寐かしつけろ』

『うン』

『行きがけに家へ寄って、だれか手傳ひに來て貰ふからな』

『うン』

『ジャガ竹、何をぼんやりしてやがんでえ、婆さんが駈け出したぢやねえか』

『あれ、氣違えの脚に何だって足が違えんだ、韋駄天飛脚みてえだ婆アだ』

才市が家へ寄ると、伊八、淸五郎をはじめ四五人居合せ、

『そいつあ竹では手に終へめえ、俺が行ってやらう』

淸五郎、伊八が若い者を一人つれて、出て行くのと一緒に才市は櫟生から生れどころの五目牛村へ歸ってゐる、お德の處へ急いだ。

その晩、五目牛では賭場が開かれてゐる。

火の見櫓の下へ伊八と淸五郎に來たが、だれも居ない。

長兵衞の母親が同居してゐる隠家へ行ってみたが、婆アは歸らないといふ。

『可笑しいなあ』

と、伊八がいへば淸五郎も、

『變には變だが、竹が眼を放さずにゐるといふから、良いやうなものの、正氣でねえのだから心配だなあ』

又、一わたり、心當りを探してみたが判りかねた。と、人家の杜絶えた村外れで

『あすこにだれか突ッ起ってゐるぜ、竹ぢやねえかしら』

淸五郎が指さす向ふに、ぼんやり起ってゐる黒い姿は、ジャガ竹だ。

『竹。長兵衞のお袋は？』

と、伊八にいはれてジャガ竹はきよとンと口を開いた。眼を動かしてゐるがモノをいはない。淸五郎が竹の背中を叩いて、

『確りしやがれ。飯を食ってゐねえ人間でもなからう』

『へ』

『どうしたんだ、竹』

『へ』

伊八が眼をたてて、

『狐でも憑いたのか。確りしろッ』

背中をドシンと叩いた。

『あッ――兄貴　いやもう大變た婆アで驚いたの何の。あゝ驚いた』

『手前獨りで驚いてゐちや判らねえ。話せ』

『伊八さん話しますよ、驚いちやいけませんよ。あの婆ア、あすこに居ますよ』

ジャガ竹の指さす先は、小さな道祖神のうしろに茂る槐の老樹の幹である。

國際收支調整の爲め 貿易統制を强化

まず輸出の見透しをつけて 輸入は一定計畫の下に

【東京電話】大藏省では先頃來昨年中の貿易狀態並に爲替の實勢を基礎に本年中の國際收入調整に資するため爲替に關する諸算とも稱すべき大綱的計畫案の作成を急ぎつゝあつたが、この計畫案の試案を得たので賀屋藏相は十一日の閣議において該計畫案の内容を說明、諒解を求めた、右爲替に關する計畫案は國內國際經濟の實勢に對應しわが國の國際收支調整、爲替水準の堅持を目標に昨年中の爲替管理並に貿易統制法の實績を基礎に打ち立てたものであり、從つて右は政府の貿易に關する統制方針に一段の强化決意を示すものと見られ極めて注目に値する、卽ち右案の內容は本年中における貿易特に輸出貿易の大體の見透しを樹て、これを中心とする國際收支勘定中の大體の受取勘定を踏み、これと本年中における所產金額を考慮して國際支拂金を一定點に抑さこれより割出して輸入商品の統制をはかり、各商品別に本年中の大體の輸入限度を割當て而して爲替安定に資せんとするものであり、商品別の輸入に關する爲替の取組につ いても一年中を約四期に分ちその一期間中の爲替取組額を豫め決定、一定計畫の下に本年中の爲替政策を斷行し國際收支調整をはからんとするものである

朝鮮にも鑛產税 低率で內地順應か

殖產局で愼重研究中

[illegible]てゐる臨新税によつて、折角意氣込んでゐる民間鑛山家の意氣を削ぐ結果となりはしないか等の疑點もあるので目下愼重研究を重ねてゐるが結局內地より税率を引下げ昭和十四年度から實施する事になりはしないかと見られる

對支全般對策 朝鮮商議も立案

[illegible]宛　朝鮮商議の對支方針につき意向を求め來つたので、直ちに全鮮各會議所に之を通達、夫々の意見を徵すると共に、朝鮮の特殊事情を考究之が同答案作成に着手した

全鮮の會社數 五千百七十社 資本金十七億

全鮮に於ける十二月末日現在の會社數は、本店五千百七十一社、公稱資本金十四億八千三百二萬千四百圓、拂込資本金九億千六百八十一萬圓、前月末に比し社數十九社、公稱資本千二百六十四萬五千圓、拂込二百二十八萬二千圓を何れも增加又支店數は百六十二社、公稱資本十三億六千二百五萬四千圓、拂込資本十億三千八百四十四萬圓で前月に比し、公稱九百萬圓、拂込千五百三萬三千四增加してゐる

畜產に重點を置く

十八日から開催 農務課長會議

十八日から總督府では各道農務課長會議を開くが、次の各項に力點がおかれてゐる

一、國策として畜產及畜產加工全般の指導振興の必要あり、畜產全部に亘つて中央地方の忌憚のない意見の交換を行ひ、直ちに實行し得る案を作成する

一、水稻耕作に不徹底の點が多いから秋耕、種子更新、乾燥（立干地干等）などを根本的に再檢討する

一、諸決定事項を直ちに實行に移すに就ての打合

尙は畜產に關しては總督も就任以來熱心に檢討を加へて居る模樣あり、時局の進展と共に朝鮮の畜產は更に重要性を增大したとされてゐる

十二月中局鐵收入

鐵道局十二月の運輸收入は六百九十三萬七千三百七十七千四圓で前年同月より百廿五萬四千二百卅七圓の增、一日平均一キロ當收入は六十圓十一錢、前年比八圓四十八錢の增收である、貨物は乘客三百十[illegible]

萬六千二百五十三人、三百十萬六千五百四十圓で前年に比し二十八萬七千七百七十六人、卅七萬百二圓の增、貨物は發送九十七萬一千八百五十六噸、三百八十三萬八百七圓で前年より十七萬二千五百四十一噸、八十八萬四千百卅六圓の增加、なほ本年度の累計は乘客二千五百卅萬一千二百六十七人、二千五百十六萬九千八百六十圓で前年より百四十三萬八千八百四十二人三百七十九萬七千八百六十九圓貨物發送六百九十三萬七千二百七十七萬、三千六十萬一千二百六十八圓で七十三萬五千二百八十四噸八百七十七萬八千五圓の增收で一日一キロ平均收入は前年より十四圓四十二錢を增し五十六圓三十八錢である

北支向洋灰輸出 朝鮮工場が有利

海州から大量輸出か

北支向セメント輸出は共同輸出を協議中であるが、朝鮮からの北支輸出は最も優位に置かれてゐる、實際に滿州の朝鮮セメント工場など地理的にも有利の地點を占め、現に北支からの石炭輸入を條件に、關東州向けのセメント一萬噸輸出を特に認められて居る等の事情もあるから北支輸出のセメントは海州から大量を輸出することになるものとみられてゐる

外に、北支滿州にも輸出を見たがまだ約一萬瓲のストックあり、この北支滿洲輸出及び鮮內消費に盡力中である、製品付罐詰は供給能力は幾らでもあるが、販路の開拓には多くの餘地が殘されてゐる

工事金融打開に 土建が乘出す

十五日鮮銀と懇談會

京城土木建築業協會では、來る十五日午後一時同協會事務所に於て會員金融の懇談會を開催、鮮銀より櫻井理事、櫻澤本店支配人を招いて工事金融に關し意見の交換を行ふが、工事金融は金融界からは依然として警戒され本年は特にその傾向が强くなるかの情勢にあるので豫め金融業者と隔意なき諒解を遂げんとするものである

公設白米値上

京城府營公設市場では精米原料續騰のため十二日より白米小賣値段を一キロにつき各等五厘宛値上げを實施

一、多摩錦特等一キロ廿四錢五厘

一、同一等同二十三錢五厘

一、普通一等二十三錢

銀行會社一束

漢銀決算

漢城銀行第六十五期定時株主總會は一月二十九日開會されるが總會提出議案及び今期利益金處分案は左の如し

一、第六十五期營業報告書、貸借對照表、財產目錄及損益計算書承認の件

二、第六十五期利益金分配案決議の件

三、取締役一名選任の件

四、海州に支店設置の件

五、長淵に支店設置の件

▲利益金處分案　當期純益金六一、二三〇前期繰越金三一、七九一合計當期利益金九三、〇二三之が處分▲法定準備金七、〇〇〇▲別途積立金一〇、〇〇〇▲株主配當金（年三分）二八、一二五▲重役賞與金　五、〇〇〇▲職員退職慰勞基金一〇、〇〇〇▲後期繰越金三二、八九七

證券金融決算

朝鮮證券金融では來る三十一日午後一時より朝取樓上に於て定時總會を開催するが、配當は七分五厘据置で利益金處分案次の通り

當期利益金四〇、四二七前期繰越八、三六〇合計四八、七八七法定積立金二、一〇〇別途積立金五、〇〇〇役員賞與一、〇〇〇配當（七分五厘）三三、七九〇後期繰越七、八八八

東拓監事補充

東拓では十一日東京本社に於て臨時總會を開催、監事二名の補缺選擧を行つたが、故福本元之助氏の後任は堀啓次郎氏、李範益氏の後任は李鍾殷氏（前全北參與官）が選任された、なほ故福本氏に對する弔慰金、李範益氏に對する慰勞金贈呈は總裁一任と決定した

米倉社長に 石塚氏

後任は山本技師

米倉社長後任は種々の取沙汰が行はれてゐたが、米穀檢査所長農林局勅任技師石塚峻氏の就任に確定した、後任檢查所長は山本壽巳氏の就任を見るものとされる

鰮罐詰手持

鰮味付罐詰は事變以來特殊需要の[illegible]

軍需下請の協議會開催

府內鐵鋼組合 十七日に總會

京城府內鐵鋼業組合では愈よ來る十七日午後一時より京城商議に於て組合總會を開催、軍需工業下請統制組合の組織、方法につき協議

江界水力の電源利用 洪原に大化學工業

東電、東邦電力も參加

東拓と森系資本と提攜とによつて操て計畫を進めつゝある江界水力電氣株式會社設立については、十日東京東拓本社內において發起人會を開き、出資その他創立事項を決定、創立總會は今月末開催することになつた、しかして右計畫による新會社資本金は五千萬圓であるが當初の豫定たる東拓四、森系一の出資割合を變更し新に東京電燈及び東邦電力も之れに參加し、出資は東拓二千五百萬圓　日本電工一千萬圓　東電七百五十萬圓、東邦電力七百五十萬圓に內定、その第一回拂込金は一千二百五十萬圓（四分の一）を來る十五日徵收することに決定した模樣である

尙ほ新會社設立を俟つて長津江と三浦里川との合流點に一大ダムを築造、之を江界に導き第一（十二萬六千キロワット）第二（四萬九千キロワット）第三（二萬五千キロワット）計二十萬キロワットの發電所建設に着手追つて之を延長百八十粁の送電線によつて洪原に導入、同地に近く設立を見る朝鮮化學工業株式會社（資本金五千萬圓出資日本電工四千萬圓東拓一千萬圓）に電力を供給する答で、同化學工業はアルミニューム二萬トン（最大使用電力十九萬キロ）特殊鐵鋼十二萬トン（最大使用電力五萬キロ）を製造する

成果を收めつゝある 獨伊の統制經濟【二】

企畫院調查官　奧村喜和男

從つて 彼が最初に掲へた旗幟が失業救濟であり、此目的を徹底的に貫徹するためには自由主義では到底成果を期し難いといふところから遂に統制主義を採用し第一次四ケ年計畫前半期の失業救濟コースへのスタートが切られたのである。

其具體策のトップを飾るものに獨逸國內を縱橫無盡に貫く大自動車路の建設がある。單に此事業に吸收された勞働者だけでも百萬人以上に上つたと云はれ、更に之に伴ひセメント工業が全能力を發揮して動いたゝめ此處にも多大の失業者救濟の途が開けた。又この理想的な道路網完成と共に自動車の需要も逐年、從つて自動車工業も發達し此方面でも失業者の捌け口が著しく生じた。此事業は固より失業救濟に役立つたことは事實だが、其反面に於て國防充實に貢獻するところも亦

絶大で あつた。航空機の發達と共に、鐵道動員計畫に缺點を發見せる獨逸は、鐵道より自動車を重視することゝなつた、此結果自動車工業の發達は實に世界的驚異の的と化するにさへ立ち至つた。更に面白いことには自動車を買入れた金額については、之を所得稅の基本額から控除するといふ徹底した獎勵策を用ひたゝめ、買手が激增して其生產力擴大と共に自動車工業は益々發達した

斯うした自動車に關する統制經濟の成果に見ても四年間に七百萬人の失業者は百萬人に減り、自動車の車輛數も乘用が五倍、貨物が七倍に夫々增大した。しかも是等の自動車は悉く組織化された動員計畫によつて、命令一下何時たりとも軍事上に使用出來るやうになつてゐる。自動車工業と共に又航空工業も著しい振興を示し

空軍の 擴大强化に貢獻するところ尠くない、また失業救濟の他方面では政府が住宅建築や改築を獎勵して勞働者に職を與へ、反面國民生活の向上改善に資してゐることが窺はれる

以上は大體前半の二ケ年間の實績だが、更に後半の二ケ年間に於ける成果を見ると、國防强化のための統制經濟として軍需資源の補給につき非常な生產と獨立を、更にドイツに生產なき軍需資源の補給につき非常に力を注いだ。一例として、ブーナーと稱する人造ゴムの製造に成功したり、石油代用燃料として泥炭利用のガソリンやモーター、オイルを製造したり、木材に加工して衣服地を製造し、全國民の衣服總量の四割を供給してゐる外

科學者 を總動員して凡ゆる代用品の製造發明に沒頭せしめてゐる有樣だ

また政府は農民を民族生存の食料供給者として民族的復興の擔當者として非常に尊重し、農村並に農民保護のため『農地世襲法』を設け、農地が借金のため競賣に附せられて、農業者所有の土地が奪はれるのを防止し、農地を永久に一族の相續財產として殘すやうな方法を種々講じてゐる。就中農民の全能力を綜合一元化した農業者組合を强制的に設けたり、農產物市場規則や農作物價格を公定して農民保護の徹底を期してゐる

一方勞働者に對しても『世界一の勞働法』と誇る國民勞働秩序法を制定して勞資關係の相互的信賴に基調を置いたナチス獨特な勞働體系を造り上げ、企業目的並に國家國民共同の福祉

增進に 努めてゐる、政府は又アールバイトフロント（勞働戰線）を結成し各種の福祉、慰安、修養、旅行等凡ゆる能率增進施設に徹底を期してゐることは注目に値しよう、斯うした統制經濟政策を遂行して來た反面に於て獨逸はは軍備の擴大强化を忘れず、現在常備軍八十五萬、海軍力二十七萬噸を有する外整備せる空軍の威力を誇つてゐる此結果は國費の膨脹も避けられないのだが政府は財政狀態については發表を控へてゐるやうだ、然し大體のところ歲入概算は百十五億マルクで國家目的使用總額は百九十億マルクとなつてゐる、此間の五億の差は資本家の寄附獻金に俟つやうである

落穗

▲松原鮮銀總裁の就任披露宴における挨拶は懇切丁寧を極め、總裁過當な位の言辭はこの人の溫和なそのまゝだ

▲……▼

前總裁とは對蹠的な性格だ。疏通もなく溫和もよいが、非常時だ、殊に鮮銀の持つ役割は大きい、もつと非常時男らしい肌がほしい

▲―▼

米倉社長には石塚技師が內定十四日に發表される、石塚氏は朝鮮米のために隨分苦勞したのだ、その論功行賞とも云ふべきか

▼―▲

高米價政策の行詰り打開に、米界も多事だ、石塚君の健鬪をつものが多い

▼―▲

釜山米取振興が叫ばれてゐる前朝取仁川支配人の平岡君をまだらんと働ける年だ、鮮銀總屋でこの人を起用しては如[illegible]

株式

聲明發表持越しに 諸株焦付く 双方手掛りを失ふ

前場 對支重大聲明發表持ちの株式市場は政府の發表が持越された事とて前日來氣迷ひを深くしてゐるが今朝は阪地の小閑きを眺めて朝新三七圓四と一高大新九八圓丁と五高新東一七一圓一と一高鐘紡二七九圓丁と四高滿重八七圓七と一圓一高同新七〇圓丁と寄附あと聲明發表待ちの事とて双方とも擧なく市場は極度の閑散を呈し新東大新朝新は膠着し鐘紡が僅かに五十錢の小動きをみせたるのみにて全く手掛りなき有樣にて諸株焦付のまゝに前場引

後場 前場膠着のあと後場は阪地安を移して鐘紡二七八圓丁と一圓安を筆頭に東新一七〇圓九と二安朝新三七圓二滿洲重工八六圓九と何れも一安と寄附滿洲重工新大新は出來不申と氣迷ひ濃厚無活氣裡に後場を終了

この借款に成功したら滿洲のみならず北支開發へも一大役割を果す事になるのであるから大相場示現となりはしないかと思ふ子株の親への鞘寄せはもつと活潑になつてよいと思ふ

滿洲重工は買

滿洲重工は今朝高所は一圓一高新も七〇圓丁をみせたが投資筋の買狂ひとなつてゐるのではないかとみらる滿洲移住によつて配當には安定性がついて來てゐるし滿洲に於て新に傘下に收められる子會社の株式は優先的に滿重株主に割當てられる事になつてゐるのであるから八七圓摑みは利廻りから云つても割安である殊に新株の七〇圓台は割安である親株は一〇〇圓で五分利廻りとなるのだから新舊共にもつと買はれてよい鮎川社長の渡米によつて米資輸入がどうなるか之が當面の大材料であるが

明治町覺書

▲歷史的御前會議は昨日了つたが政府の重大聲明發表はまた行はれないので之に關心を寄せてゐる市場としては强弱共に仕掛け難となつてゐる▲主力株は底固ながらたゞ大持合の範圍に止められてゐる感じきたくも動けないのである直接手掛りとなるべきものがないからなんだ▲それに尊から越年玉を抱いてゐる連中は幾の安い所で投げてゐるやうだが帯ゐ人氣が强かつた丈けにまだ因果玉を殘してゐるのではないかと思ふこの相場付からみると新東も鐘紡も今一つ安い所をみせないと立直り難い事になりけしないかと思ふ殊に目先としては軟材に敏感となつてゐるのであるからこゝで押目をつけた方が相場を大きくする事になりはしないかと思ふ▲起債市場も再開の見込みがついて來たこの驅持俵削下にあつて金融界が頗る平靜にある事け洵に賴もしい限りである此の金融基調の平靜は將來株式界の活躍を暗示してゐるものだ▲主力株はこゝで押しをみせたら買だ重大聲明が發表されたら環境は明朗化して來るのではないかと思ふ又明朗化しなくてはならぬのだ大體に於て事變の見透しもついて來たと市場人は云つてゐるのだからこの警戒入氣の箕が出たら大きいのだ▲新株の匆々から穩健な出足をみせてゐる相場だから之を買つたとしてもない此おとなしさが曲物なんだ

新潟鐵工增資期

五大メーカーの一つとして堅實な經營を行つてゐる新潟鐵工は依然一割配當を堅持してゐる最近五、六期間は每期三割四、五分の利益率をあげてゐるのであるが過去の不況に苦しんだ經驗から內部留保を第一にして一割配に止めてゐるのだ工場擴張も右の經驗から消極的の嫌ひがあつたが昨年下期から受注高の激增に促がされて積極的となつて來た卽ち昭和七年上期受註高は百八十一萬圓であつたが十二年上期は八百萬圓に四倍半の激增をみせ一方製品引渡高も昭和七年上期の百七十四萬圓から十二年上期は一千百六十一萬圓に躍增してゐる如何に時局の好影響を受けてゐるか判ると共に當社の古い地盤と技術が物をいつてゐるのがうかゞはれる當社は時局卽應の爲め目下擴張に努力中である現在蒲田工場の空地三千五百坪に高速度ディゼルエンヂン工場建設中であり之に併行して新潟柏崎長岡の三工場もそれぞれ擴張中であつて以上に約六、七百萬圓の資金を要するこの中三百萬圓は昨年九月の拂込金と內部保留によつて賄はれるが殘り三百圓は拂込徵收によ る外ないとみられる結局三月頃までに最終拂込をとる事になりはしないかと思はれる生產擴充けこゝ二、三年は持續するのであるから一層々を示した

最終拂込みと同時に再增資となりけしないかとみられてゐる

國債 買氣衰へ 引弛む

【東京電話】金融情勢は引續き緩慢であるが一方增稅問題もあり積極的買物もなく內地債は概ね五錢方下押し佛貨五錢安となり米貨六分半三十錢高、五分半四十錢安と位の局

朝米 氣預け賣り多く 伸力を阻止

地方筋は買募ふ

前場 今朝は阪地の變りなき商狀に當一圓七十錢中一圓九十一錢先二圓三十三錢と寄付いたがアトは正米の弱含みに二十九錢から七錢と押し六節以降は阪地の手堅い商狀に三十錢から三錢と再び小戾せしも引際は二十八錢と押し目先上げ一巡の商狀を呈して前場を終了した

後場 前場小浮動に了りたるあと後場は當一圓七十四錢中一圓九十錢先け一圓三十錢と二錢高に寄附三節二十九錢と不味であつた

口先天井打ち

當所の伸力が阪地に添はないのは地方筋の買物が一巡出盡したのと先限に對してはめから中限に買建を有する手ロの乘替へや丸ナ米等が相當に賣繫からその重壓に依るものゝ如くである從つて今後共當所け阪地高に添ふかは疑問視する向が多いのみか叙も一斤九錢そこ

くと云へば玄白米共採算け出合はないので之れ以上の高値は一寸困難であるし又正米に於いても內地の實需筋は旺一杯買附けを行ふてゐる際とて未だ當分不買れが續きさうであるから相場もこの邊が目先天井で暫く保合を繰返すのでないかと見る向が多い狀態である

上旬移出高

一月上旬仁川港から移出した米の數量は玄米五萬四千六百三十三石白米が五萬九千七十五石で前年の同期に比較すると玄米が約九萬石白米も三萬石の激增となつてゐる之れは客臘中內地賃商筋の買附米が船腹の不足に依り積み殘つて居たものが主に移出されたものであるが現在仁川の各倉庫にある米の中には內地實需筋との間に取引が成立なし金融上一時倉入れせる物も未だ相當あるので今後共移出米け引續き增大するものと見られてゐる

米界六感

取引員組合では來る四月限から丸ナの暫進米と赤神力を二十錢陰羽を十錢格下げすべく當局に申請中の所暫進米と赤神力は十錢格下げする事になつたが陰羽は現行通り三等五十錢四等廿錢の格上げを動かさぬ事に決つたらしい▲して見ると丸ナの陰羽を手持せる連中はこの先限へ繋いで賣繫ぐ必要はないわけである、が同じ丸ナの陰羽でも濟州市場へ來る米は品質の悪い物が多く受米しても格上げとなつた丈けの値段で取引が出來ないばかりかそれがため仁川の相場が割安を強し丸仁米に及ぼす影響は決したものである▲今朝産地から來た某氏に割高の原因を聞いて見ると無論農家の賣物が一巡出盡した事にも依るが從來は籾と玄米の値鞘が餘り開き過ぎてゐたので籾の方から鞘を寄せたらのであつて最近は籾が割高となつたからもうこの上は高くけなるまいと云ふ事であつた▲成程精米中は百石の玄米を調製すると百四圓位は朝飯前に儲かると云ふ狀態であつたからこの邊け籾と正米の鞘が縮少するのは當然である

上旬米輸移出入

財務局調查による一月上旬の米及び粟の輸移入高は左の通りである（單位石）

米輸移出高

輸出	移出	合計
二四	四八三、七七	四八四、二〇一

粟輸移入高

輸入	移入	合計
八六〇六	―	八六〇六

持米筋は繫く

定期け依然底堅硬なるも正米は前日來高ナグレと云ふ商狀を呈し本日の如きは銀三等が卅一圓六七十錢と云ふ唱へであつた之れは內地筋が皆目買進んで來ない事にも依るが大體け在庫の豐富と共持米筋では多少買氣を催して來た事に基因するものである

籾は賣物薄

鮮內の各集散地とも在庫米が著しく增大せし事は盛臘中籾と玄米の値開きが甚しく百石の米を調製すると相當の利益となる所から玄米に加工された數量は意外に多かつた事に依るものである現に最近籾が著しく騰貴せしは盛臘中農家が大部分手放し品薄を告げるに至つたもので籾としてけこの邊下け難るとしても玄米は在庫の豐富と內地筋の買控へに依り幾許け當分高くなる事は至難と見る向が多い

仁川正米市況

新玄米	三等	四等	五等
多摩	[illegible]	[illegible]	[illegible]
銀坊主	[illegible]	[illegible]	[illegible]
穀良都	[illegible]	[illegible]	[illegible]
陸羽	[illegible]	[illegible]	[illegible]
雄玄米	[illegible]	[illegible]	[illegible]

株式（十二日）

[illegible]

期米（十二日）

[illegible]

商品（十二日）

[illegible]

外電（十二日）

[illegible]

金融（十二日）

[illegible]

日銀帳尻（十一日）

[illegible]

鮮銀帳尻（十一日）

[illegible]

蒲生三勇士（71）

一龍齋貞丈演　木俣茂彌畫

色香に迷ひ惡企み

ソコで荒神三五郎が

三『もし安井さん、私が大勢に吩附けて、其の敵の角太郎といふ者は探させますから、お前さんも私の家に居て、出入りの者に氣を附けてお在でなさいまし』

綱『左樣だな、折角さういつてくれるのだから、其れでは當家へ參つて厄介になつても宜いが、何に致せ、今夜は當時厄介になつて居る越前屋方へ歸つて主人に相談をして見よう』

三『マア成るべくお出でなさいまし』

其日は其儘歸り、越前屋兵衞に話をすると、

兵『其れは結構で、成程手前共にお在でなさるよりさういふ出入の多い所の方が、敵をお探しになるには宜しいかも知れません、手前の方では何方でも宜しうございますが』

といふ返辭、

綱『其れでは先方も折角さういつて異れたものだから、先方へ行つて當分厄介になる事にしよう』

兵『左樣でございますか、ちやア先方へ行らつしやつても、どうか、宅に在らつしやると同じやうにチョイくお出でを願ひ度う存じます』

と話をして、其後は翌た明の朝、愈よ安井綱五郎が荒神三五郎の所へ引越す事になつた、引越すと云つた所で、別に荷物も何もあるのではない、小僧が一人包みを背負つて供をして來る、主人の越前屋兵衞も一緒に來て、

兵『親分、三五郎さん、此の安井さんといふ御方は手前の命の恩人、其れゆゑ長く御世話をしようと思つて居たのでございますが、貴所がこれから御世話をなさる事ゆゑお願ひを致しますが、どうか大切になさつて上げて下さいますやう、安井さんの事に就いて、御宅樣の事ゆゑ御不自由もなからうが、何か御入用の筋でもありましたら、一寸仰しやつて下さいますれば、何でも用を達しますから、どうかさういふ時にはお知らせなすつて下さいますやう』

三『へエ宜しうございます、御贔屓と云へば手前のお出入先の若旦那が矢張り此の旦那に助けて戴いたんですから、シテ見れやアお互ひに御恩人に變りありません、決して不自由を掛けるやうな事はございませんから其處は御安心なせえまし』

綱『ちやアどうか何分お願ひ申します』

と越前屋兵衞は三五郎に綱五郎の身の上を頼んで歸りました、扨それより綱五郎は出入の者に聞いたり何か致して居りますが、更に角太郎の手掛りがございません、お話變つて此方は立花の江戸家老立花源左衞門の倅源之丞、ザア向島の一件が口惜くつて堪らない、ソコで段々手を廻して樣子を聞いて見ると、小田原浪人の助太刀に入つた浪人者だ、當時は荒神三五郎の所に食客をして居るといふ事が分つたから、世の中には根は斷つても葉を拾はずといふ事があるけれども、どうしても眞田十次郎を殺すにはその綱五郎といふ奴を活かして置いては駄目だ、一ッ彼奴から先へ殺つて了ふ、其れにしても迚も尋常にはやれないから、何とか騙し討の方法を講じなければやアなるまいかと、今樂の色香に迷つて眞田十次郎を殺さうが爲に、綱五郎にまで危害を加へる事になりました、人間は何處でどんな人に恨みを受けて、どんな災難を被るか分らないものでございます、或る日立花源之丞が部屋頭の盤石中右衞門の所へやつて來た、

源『中右衞門は居るか』

中『オヤ是れア御家老の若旦那樣でございますか』

源『少しお前に頼み度い事があつて來た』

中『左樣でございますか、何だか知りませんが、其處ではお話が出來ません、マア此方へお升んなさいまし』

京城日報

朝刊

印刷人 小川三之介　發行兼編輯人 高橋一雄
京城府太平通一丁目　發行所 合資會社京城日報社

高級インキ パイロット

五大特長
一、鐵ペンが錆ない
二、沈澱がすくない
三、色調が美しい
四、褪色の憂がない
五、値段がやすい

日英米佛特許

¥.20

ゴム　石綿　保温材　コルク

京城古市町四三
湯澤商店
電話本六三四七

五万分一地圖
軍用教科書
大賣捌
小林商店圖書部

麻絲。綿撚絲。麻綿。ミシン絲
麻布。マニラロープ。絹紡細絲
【其他工業用麻綿絲各種絲】
帝國製麻株式會社製品
帝國製絲株式會社製品
東洋絹紡株式會社製品
朝鮮專屬販賣部

傘愛國商行
京城府黃金町二丁目
電話本局(2)三九〇四番
振替京城五九九五番

養鷄及家畜飼料（御通知次第見本進呈）
京城府古市町
電話本局五四二番
澤浦精米所飼料部

創立 明治三十九年
京城府南大門通二丁目
株式會社 朝鮮商業銀行
頭取 朴榮喆
專務取締役 堀正一

本店 京城府南大門通二丁目十四番地
電話本局(2)二一六一番
振替口座京城二一〇五番
株式會社 漢城銀行
頭取 林茂樹
支店（京城南大門、同東大門、同西大門、同本町、水原、開城、大田、永同、大邱、金山、開城、延安、平壤、平壤大和町、楽浪）

帝大病院筋入
布ホース
消防ポンプ
消防器具被服
角一ゴム製品
京城府南大門通三丁目
株式會社 赤尾保商店
京城出張所
電話本局(2)三〇三七番

義手足コルセット
優秀製品 カタログ進呈
京城府長谷川町
高野義肢製作所

眼鏡は中村眼鏡店へ！
京城帝國大學附屬醫院眼科
醫學專門學校附屬醫院眼科
赤十字社朝鮮本部病院眼科
京城府民病院眼科
龍山鐵道醫院眼科
江頭眼科醫院
全鮮各官公私立眼科
御指定 調製所
京城本町一丁目（郵便局前）
電本②5017番・振替京城346番

喘息と鎮咳に

Ⓟ（ピルマ）エフェドリン「ナガヰ」

藥學博士 理學博士 ドクトル 長井長義氏 發明

喘息、鎮咳劑として發作の豫防鎭靜、苦悶消退等の諸點に對して良く本劑は其の効果を齎すのみならず治療上極めて容易に投與の利便があり且持續的なる作用を有す、而して長期に亘る服用も何等の胃腸障碍なきためエフェドリン「ナガヰ」に因る滿足感は服用者のみが享受する利點なり

適應症
喘息、一般咳嗽
氣管支加答兒、
百日咳、夜尿症
蕁麻疹、盜汗

包裝
一〇錠　二〇錠
五〇錠　一〇〇錠
五〇〇錠
粉末、散劑、注射液アリ

類似品あり御求めの節は必ずⓅの印とエフエドリン「ナガヰ」の文字に御注意の上御指定を乞ふ

製造元 大日本製藥株式會社　本店 大阪道修町三　支店 東京本町二
關西發賣元 株式會社 武田長兵衞商店
關東發賣元 株式會社 小西新兵衞商店
（全國到る處の藥店にあり）

賀正
祈皇軍武運長久

安州邑 安州券番 電話四一番
安州邑 李東衍
安州邑 尹恒
安州邑 富士屋米穀商 電話四〇番
安州邑 東明書店
安州邑 洪禹疇
安州邑 常井章
新安州 ㊁運送店 李二雄
新安州 赤松活版所 平田由雄
博川法院出張所 赤野富造
平北孟中里驛前 澤崎新聞舖
平北孟中里 小森夏井
東亞醫藥株式會社 博川出張所
平北博川 長谷旅館
安州本町 ライト會館 廣瀨久子
安州邑 東順長商店
安州邑 久次商店
平安南道 道會議員 金鎭泓

平安南道安州邑 西鮮米油株式會社安州支店 電話五番
平安南道 安州官公署長有志
平安北道 孟中自動車株式會社
平安北道 博川警察署
平安北道 博川郡農會
博川 古市豐壽
安州邑 久田茂壽
安州邑 藤村恒三
平北博川郡 順安親交會
新安州驛前 小川磐房
新安州 藤曲勝五郎
平安北道 宮國在鄉軍人會 博川分會長 坂本幹平
朝鮮殖産銀行博川支店 瀧信正
新安州 山口駒猛 二宮彥 中村作 大島周章 井原泉 嚴駿熙 金麟變 三原義雄
平南新安州 土木建築請負業 柏木組 電話二二番
京城錦町（電光化二三八六）
咸鏡南道檢德鐵山
安城郡廳職員一同
聞慶邑內官公署 職員一同
銃砲火藥免許所 金物商 合資會社 小島商店 電一六番 會寧
株式會社 間組 茂山郡金佩出張所

藥用 クラブ歯磨は

普通の歯磨とは 全然違ひます！

藥用 クラブ歯磨で
家庭衛生を建直しませう

歯磨なら何んでも結構、磨きさへすれは安心…と云ふ考へ違ひは早速あらためませう！殺菌消毒力の弱い歯磨では氣休めの程度でこそも有害なバイキンを死滅する事は出來ないのですその點て、クラブ歯磨は有効な殺菌原料を配合して保健衛生のため專門的に研究されたものです。ムシ歯や惡疫を防ぐ科學的歯磨で歯科醫が御推賞あるも當然、少しでも衛生に注意なさる方ならクラブ歯磨を益々御賞用になられます。今日からクラブ歯磨で先づ家庭衛生を建直しませう！そして、唯一路、強い歯健康の健康生活へお進み下さい。

有効な この科學的作用！

クラブ歯磨には專賣特許の強力殺菌劑クロール・カルヴァクロールとヨードチモールが配合され、歯を白く美しくするはかりか、ムシ歯や口臭惡疫の因となるバイキンを掃滅し、歯と歯齦を強めて歯槽膿漏を防ぎます。而も味や香りは爽快に、使ひ心地もスマートでお子様も喜んで使はれます。その上効力が強くて小量で足りるから第一經濟的です。
尚お煙草を召上る方には半煉クラブ歯磨が一番です。粉が飛び散らずニコチン色を清掃します。

專賣特許の強力殺菌劑 クロール・カルヴァクロール ヨードチモールの殺菌性能

齒牙及ビロ腔ニ繁殖シヤスキ細菌類	100倍稀釋液	1,000倍稀釋液	5,000倍稀釋液	10,000倍稀釋液
チフス菌	完全死滅	完全死滅	完全死滅	完全死滅
化膿性連鎖状球菌	完全死滅	完全死滅	完全死滅	完全死滅
葡萄状球菌（白色・黄色）	完全死滅	完全死滅	完全死滅	完全死滅
大腸菌	完全死滅	完全死滅	完全死滅	完全死滅
肺炎双球菌	完全死滅	完全死滅	完全死滅	完全死滅
假性ヂフテリー菌	完全死滅	完全死滅	完全死滅	完全死滅
加答兒性球菌	完全死滅	完全死滅	完全死滅	完全死滅
結核菌	完全死滅	完全死滅	完全死滅	完全死滅
乳酸菌類	完全死滅	完全死滅	完全死滅	完全死滅
其他ノ腐敗菌	完全死滅	完全死滅	完全死滅	完全死滅

N.H―18

補血強壯 ブルトーゼ

造血アウトホルモン
各帝大病院常備藥

銃後の弱体を撃滅一掃せよ

銃後の國民体位向上は最も切實なる要求の一であるが　体位の向上は單に治病に止らず疾病に對して充分なる抵抗力を有する体軀の創造にあり　ブルトーゼが多年盛用される所以も亦此處にある
即ち本劑は結核貧血等虛弱体に對し造血を促進すると共に個々の細胞原形質をも賦活してその甦生を圖るが故に代謝機能の亢進と榮養の充足に依つて一般的健康状態の改善を惹起し抵抗力を作興し弱体を強化するに至る

株式會社 藤澤友吉商店
大阪市東區道修町
東京市日本橋區本町

榮養不良 腺病質 急性性貧血 諸病恢復期 産後等 ブルトーゼ
神經衰弱 神經性疾患 皮膚疾患 佝僂病 白血病等 アルゼンブルトーゼ
腺病質 動脈硬化 喘息 虛弱兒 肋膜炎等 ヨードブルトーゼ
食慾不振 胃腸疾患 病患後の衰弱 ヒステリー等 キナブルトーゼ
肺結核 喉頭結核 肋膜炎 肺尖加答兒 結核諸症 グアヤコールブルトーゼ
安產強兒 產前產後 乳幼兒虛弱 筋骨薄弱 過勞等 ネオブルトーゼ錠

小冊子「活動の源泉」無代進呈

B 1301

家庭

一家庭經濟にも響く
並々ならぬ今度の増税
昨年以上の覺悟が必要

經濟解説

正月に迎へると共に、一國の經濟、つまりその年一年の經費の切り盛りが議會で決まる——といふのが日本の現在の情況で、この二十二日から再開される帝國議會では、今まで、北支中支の戰捷やその他戰爭に關係する費用が二十五億圓にも上つてゐる事實に鑑み、今度は この一年の軍事費を

四十億圓と 見積ります。今までかつてない巨額な非常時豫算が組まれやうとしてゐます。從つて臨時軍事費と一般の豫算を合せると實に五十四億といふ尨大なもので、これを事變前の昨年が二十八億圓であつたのに比較して見ると一躍倍額になつたわけです

さて、この巨額な費用を、政府は一體どこから捻出しやうとするのか、今迄通りの税金をとり立てたのでは勿論賄へない、といつて國民の生活の上のことも考へねばならず、爲政者の惱みはそこにあるのです、一家の經濟にしても、家人達の慰めになるものや榮養になるものをまで一擧にとりあげてしまふやうなことは如何に困難なことゝ同じやうに、餘り課税が重いとそれは經濟上の負擔はかりでなく、國民の意志を沮喪するやうな結果ともなり、反つて所期の目的が達せられないといふ惡結果に陷らぬとも限らぬのです

そこで政府 では今度は昨年末度々行つたやうな公債を發行したり、債券で民間に散在してゐる零細な金を集めるやうなことは極力避け、國民に事件費を萬遍なく負擔して貰ふ意味で増税を行ふことに大體意見が一致し、今度の議會で協賛を經ることになりました。尤もこの増税といつても、今までの税金を單に倍にしたり三倍にしたりするのではなく、根本方針は、今回の事變に際し、利益を得たものに對し主として重課するといふのです。それには所得税を中心とした各種の直接國税に重點を置くことにしてゐるといふのです

これが爲めには 昨年一ケ年の期限付で施行された彼の北支事件特別税として公社債で

貴金屬及び 奢侈品らに對し課税して來たものゝ範圍を今度は更らに臨時増徴法といふ一本の法規にした上、更に擴充し、今まで課税されなかつた家庭必需品などに對してもまた或る程度の税を賦課しやうといふのです

この増税は一年二億圓になり、北支事件特別税をそのまゝにして置いての話ですから、三億圓の増徴となるのですから課税の根本方針たる大衆にはなるべく増税しないといふ方針ではあつても、矢張り或る程度、事變費負擔といふ名目として課せられることになりませう

金があるまゝに物を無駄にせぬやうにとの意味から、消費節約を併せ行ふ消費税による増徴、家庭を新案する者に對する或る程度の課税、先年あつたやうな通行税の復活等々——政府ではそれらの税をも賦課しやうと目下個々について鋭意研究してゐますから、遠からず、その全貌が判然とすることでせう、それではそれらの増税がどの程度に家庭

生活に影響 を與へてくるか——といへば、それはまだ、細目が決定しないので、こゝに具體的に述べることは出來ませんが國家の公人として、また社會の一員として、その負擔が並々ならぬものだといふことを今から覺悟して、昨年にもまさる決意をしなければならぬのではないかと思ふ、そしてこれは一家經濟をうけ持つ主婦のみの任務でもないことを銘記せねばならぬと思ひます、なぜなら消費税その他の關係で物價も多少騰ると見られるからです

物のはじまり “門松”

起原ははつきりと解らないが、新撰六帖に『門松賢木拂貞松』とある、又堀河天皇の時には、立派に門松のあつたことが記されてゐる、當時俊惠法師、歌に『家にあへることの門松をわけ來つゝ我も千世へんうちに入りぬる』と ある、俊惠法師は歌の名手でもあつた また『徒然草』に『かくて明ゆく空のけしき、昨日にかはりは見えねど ひきかへてめづらしきこゝちぞする、大路のさま松たてわたして はなやかにうれしげなるこそまたあはれなれ……』とある、要するに今から九百年近く前に始まつたことらしく、現今見る松飾り様式は、元祿時代以後であらうといふ

水道が凍付きませんか
よく栓を締めて下さい　水道課より

ひどい寒さが續いて水道の故障が相當増加し水道課では殆ど不眠不休で萬全を期して居りますが 何分一時に輻輳しますので職工の繰合せ等の都合により、或は御家庭に御迷惑をかけることも多いことでせう就きましては出來得る限りこの災厄不便を免るゝ爲に此際水道凍結豫防に關して御家庭に於ても是非御注意願ひたいと存じます

一、水道使用後は後にある大きな各水栓を完全に締めて水滴のない様にすること

一、少量の水を出し放しにすると却つて凍結しますから出し放しにしない様に注意すること

一、當來裝置のある御家庭即浴室便所その他に水栓のある處では就寝前に開栓して十分排水すること等で要は出來る丈け栓内及其附近の水分をなくすることであります

栓から水を少しづゝ出しておいた方が宜いやうに考へる人もありますが栓は矢張り完全に締めておかぬと凍る虞があるばかりでなく非常な不經濟となりますので出しはなしにせぬやう御注意願ひたいのであります

美容室
嚴寒『お肌の護り』この要領で……

●●洗顔にはぬるま湯を使ひますが、その前にコールドクリームをよくすり込んでおく必要があります、さうする事によつて、石鹸で顔の脂肪が取れ過ぎてしまつた、といふやうな事がなく、いつもしつとりとした肌を保つてゐられるのです。

●●さうして又外出前後に石鹸で洗顔することは禁物で、この場合コールドクリームで拭いておくやうにします。

●●入浴後の氣孔の開いてゐる柔かい肌のうちにリスリン又はスキンフツドをすり込んでよくマッサージをします。然し入浴も外出直前は避けなければなりません。

●●ところで外出し、肌の荒れた場合は、コールドクリームで皮膚をよく拭き、そのあと、温めたオリーブ油を脱脂綿に浸ませてこすり込みます、すると一晩でしつとりとした貴方の肌を取り戻してゐるに違ひないのです。

寒風の吹きすさぶ今日此頃、女性として、大切に肌を護り通さねばなりません。

入院隨意　紙上病院
マッチの軸木を立てる

マッチ函の上にマッチの軸木を一本立ててごらんなさい、といはれると、誰も出來ない難問なのですが、そこがそれ工夫といふもの、たつてわけなく立てる事が出來ます

種明し ……それは函の方から表に僅かに頭を出すやうに針を植ゑておきます そして、その尖つた針先に、軸木なり鉛筆なりをさして立てれば造作なく立つて出來るものです、この種を知れば何でもないと思ふけれど、さて演藝でやるのを見てゐると、全く不思議に思はれる手品です

わが世の春　虎玩具いろ〳〵

××寅年大陸めでたき新年と共にわが世の春を謳ふ虎君には昔から多くの傳説や玩具などになつてゐます この虎の玩具について西鶴笹野先生にお話を聽いて見ます

××虎の玩具は我が國には隨分澤山あります昔から虎は千里行つて千里かへると云つて戰の門出には尊ばれました日本で虎の玩具はいつ頃出來たかと云ふと大阪の道修町に神農社といふのがある これは支那から來た藥の神で毎年十一月二十三日の祭日に頭部に藥の字が書いてある張子の虎を頒布してゐるがこれが我が國で虎の玩具の初めです

××その張子の虎の由來を尋ねてみると 徳川の中期に大阪地方に疫病が流行した時に虎の骨だと云つて藥を賣出した、虎の骨は疫病にきゝめがあると云ふ處から大繁昌したところが時の役人が虎は日本に居らず中々手に入るものでなく不正な物として、禁じてしまつたので、そのかはりとして藥の字を書いた虎を施與する事になつたと云ふ

××又この虎が出來たのには、こんな話があります その頃大阪の藤堂芳松と云ふ漢法醫があつた、自業の醫藥が思はしくない所から昔から虎の骨は藥になると云ふので張子の虎を作つて賣出した ところが、本業の醫者より繁昌して巨萬の富をなしたと云ふ、貴重な文獻が西鶴氏によつてこの程發見された これが虎の玩具の最初とされ、それ以來全國各地に虎の玩具が出來たのです

××寫眞(上)朝鮮の虎向つて右、虎上老君と云ふ木製彩色、左土製(中)京都伏見土製稻荷馬山でもおなじみのもの　これはいづれも虎の性格が良く出てゐます 元來朝鮮には虎が居ただけにいる

(下)滿洲國向つて左虎のヌイクルミ幼童の玩具。向つて右、不倒の森と云つてオキアガリです土製　この二つを見ると日本と朝鮮の虎が形の上に一脈相通じてゐる點が面白い

ハリヌキ婦人が虎の頭をかぶつてゐる　滿洲國の婦人は魔よけとして崇敬してゐる

土産として賣つてゐる）が朝鮮土製

現代棋戰　爭霸戰譜
第八局

平手　△六段 山北孫三郎
先　▲六段 寺田梅吉

（圖は前回△七二金迄の局面）

▲七五龍 4　△五三香 10　▲五五桂 2　△三一桂 9　▲四三桂成 21　△六八成 18　▲八九玉　△五九龍　▲七九金 3　△七七香成 6　▲五八金　△同龍　▲七二龍 2

△持駒 山北氏 角桂香
▲持駒 寺田氏 金桂歩

（持時間各九時間）累計（山北氏 四時間三九分　寺田氏 五時間二四分）

觀戰記
双方必死の奮戰
後手の好手五八角切り
六段 飯塚勘一郎

後手方が七五龍と敵に引かせた後五三香と矢継ぎ早やに攻め立てたは、先手がこれを構はず置けば忽ちに五八角成、同金、五九龍と云ふ、怖ろしい順を狙つてゐるので、先手五五桂は是非ない、と云ふよりもこれは却つて先手としては有難かつた様にも思はれる、と云ふのは敵に三一桂と打たせた後、先を握る事が出來たからである。寺田氏は此の先手を如何にかして活用し度いと頻りに苦慮してゐたが、後に「勝負」だと絶叫し乍ら六三桂成と斬込んだ、これは敵に五八角成と切られる順があるのでむしろ四八金と指し度い處であるがそれだと後手に五五香と出られる、その時先手これを同龍なら七四角成で面白くないし、四九金なら五七香成、同金、四九龍で更に大きな駒損を重ねる結果となつて惡い、茲に及んでみれば前の先手方の駒損が如何に大きな影響を與へてゐるか、初心讀者にもよく諒解されるであらう。

後手五八角成は好手、先手同金では五七香成があるから、玉の早逃げを計る、續いて後手五九龍の時先手七九金で九八玉だと、五七馬とされ、これを同金なら七八銀、九七玉、六三金、七二龍、七四桂でいけないし、同金を七二龍なら六八龍で結局手負けとなつてゐる先手敵の五七香成に對し、五八金と角を得て、更に七二龍と飽迄勝負に出たはやむを得ない。

家庭医学

食べ過ぎ 飲み過ぎから起る 胃腸カタルの手當法

正月は胃腸を壞す人が多い

松の内は過ぎてもお屠蘇の飲み過ぎや御馳走の食べ過ぎから、胃腸を壞し、どうもはかばかしく恢復しないと云つた樣な方が多いやうです。

お酒は百藥の長と云はれる樣に、適度に飲めば身體のためにもよいし、またお正月の御馳走も、

お雑煮をはじめ

數の子、ごまめ等榮養價の高いものが多いのですから大いに結構ですが、お正月はそれがつい度を過しやすいので、そのためとかく胃腸を壞すのであります。

それも輕度のもので、一日か二日の手當で治るやうなら結構ですが、胃腸粘膜のカタルが容易に去らないで、時々腹部に痛みを感ずるとか、また食慾不振や、下痢や便秘がつゞく樣な方は病氣が慢性に移行しかけたものと思はねばなりません。胃腸の障碍は、直接榮養の低下となつてますので、これが慢性になりますと、身體が衰弱し、抵抗力が衰へてくるは勿論、そのために貧血や結核の樣な病氣を誘發させる虞れが多いのであります。

從つて胃腸病の手當は、なるべく早期のうちに、徹底的な療法を行ふことが大切なのでありますがそれには先づ、カタルを起し

機能の衰退して

ゐる胃腸の組織を強めることが、治療の眼目であります

殊に注意すべきは食物の攝服が、あまり長期に亘らないことで、そのために却て榮養不良に陥り、恢復を遅れさすやうなことになりますから、食物はよく咀嚼して榮養の豊富なものを適當に攝取すると共に、藥物としても、消化酵素や整腸劑の樣に單に胃腸の働きを補助するだけでなく、胃腸を組織から丈夫にし、而も各種の榮養素をも補給する綜合ヘーフェ製劑「錠劑わかもと」を服用することが有効であります。

この藥は、ヘーフェといふ生物菌中から、最も藥用價値に富む特殊の菌を抽出し、製法特許の方法によつて製られたものでありますが、その特徴とする處は十數種の活性酵素やホルモン性物質による『細胞原形質賦活作用』であります。

即ち衰弱した胃腸組織を刺戟し、機能を活潑にするので、これを服用しますと、胃腸の實質が強まり、消化吸收が良くなる結果下痢や便秘食慾不振等の種々の症狀も自然輕快してくるのであります。

榮養素としても

その上「錠劑わかもと」には各種ビタミン、脂肪、アミノ酸など、人體に必須の榮養素が綜合網羅されてありますから榮養の低下も同時に防がれる譯で、急性慢性の胃腸カタルには勿論、胃擴張、胃酸過多、各種の胃腸疾患にも、いろ〳〵と效果が及ぼされるのであります。

老人の食物には 特にこんな御注意が必要

☆六十歳以上の老人百名についての實驗

成長盛りの青少年は可成り自分で自由に食餌を攝つても、それによつて榮養を吸め、エネルギーをつくるにさして困難は感じませんが、六十歳から七十歳以上の所謂長壽を保つて居られる老人方は少しの過食、或は偏食が案外健康に影響するものであります。

大體中年期を過ぎると、成長が止まり、新陳代謝は衰へて來るのが常ですが、それが最も著明に現はれるは消化器で、大切な

消化

酵素の分泌が衰へ腸の蠕動運動も円滑を缺いてゐます。その上齒の弱いことも災つてよく消化不良を起し、常習便秘や貧血の慢性病を引起したりし勝ちです。

從つて老人の食物には、なるべく榮養の豊富な しかも胃腸の負擔の少い消化の良いものを選ぶことが大切なのですが、それではどんな食物が一番消化が良いかと申しますと、最近これについて面白い研究が發表されて居ります。

即ち六十歳以上の老人一〇〇名に三日間特別食を與へて、その排便を調査したところ、老人の胃腸内では脂肪が最も消化吸收されず次いで肉類が惡く、澱粉が最も良く消化吸收されることが判りました。次いでこの研究を確證すべく消化酵素を採つて試驗管に入れ、脂肪、肉類、澱粉に對する酵素の働きを研究されたところ、矢張り前の實驗と同樣の結果を得ることが出來ました。

ですから老人の食物は、米、ウドン等の澱粉を中心とし副食物としてなるべく消化のよい魚肉や、野菜等を備へ、他の

肉類

及び脂肪等は、消化される範圍で少量を攝ることがよいといふことになりますが。然し此頃では、かうした食物の選擇にのみ頼る消極的な方法より遙に進んだ、胃腸機能を根本から強め、消化吸收を促進する「錠劑わかもと」の服用が賞用されだしました。

この藥には、脂肪や肉類、澱粉などを消化する各種の消化酵素は勿論、老衰によつて減退した體内の新陳代謝作用を亢進させて、胃腸をはじめ全身諸機能を活潑にさせる活性酵素、ホルモン性物質や、なほ人體に必須の榮養素をも豊富に含んで居ります。

ですから老人の方が「錠劑わかもと」を服用されてから、消化不良や便秘が防がれて

榮養

が充實し、顏色も良く、毎日の疲勞も少いと云はれるのも、この藥の效能から推して、極めて當然な事と云へるのであります。

この「錠劑わかもと」は東京芝公園大門内脇、わかもと本舗榮養と育兒の會(振替東京一七〇〇番)から三百錠入、一圓六十錢と云ふ一日分僅か五、六錢(小兒には二、三錢)の廉價で發賣されてゐます。

一家四人の愛用する胃腸藥

(兵庫) 湊川賛江

長女四歳ですが、生れた時から身體が弱く、常に胃腸が惡くて醫者にかゝらぬ月がない位でした。そんな有樣ですから顏色も惡く、なんとかして胃腸を丈夫にしたいものだと滋養劑を澤山服ませましたが、どうしたものか一向よくならず便秘をします。便秘をするとヒキツケが來まして家中で大騒ぎをする始末です。

昨年暮も神戸は寒いから子供の身體に惡いだらうと、夫とも相談して徳島縣の私の實家へ暖くなるまでと連れて歸りました、田舎へ歸りましてもやはり申します。

或日のこと雇母が外出から歸り、この頃『錠劑わかもと』が良いと廣告にも出てゐる由、一度服ませてみてはと申します。(中略) 物は試しといふ事があるからといふので三百錠入りを買つて歸り服用させました。

服用を續けて×瓶が終る頃から、便通は毎日ある樣になり、顏色もとても良くなりました。御近所の人が、知惠子さんは見違へる程お丈夫になられたと申されます。これも『錠劑わかもと』のお蔭だと感謝してをります。主人もこんなに效く藥だから昨年生れた子供にも服ませます樣にと申しますので服ませて居りますが、肥つて來、今では主人も私も一家四人で愛用してをります。

カブトのカッちゃん 中島菊夫

1 おそくなつた 早く帰らう

2 おや あれは

夜ねむれんのでたいへんでせう

3 夜ねむれんなら「錠劑わかもと」がよくきくよ

ありがたうだが 夜ねむると仕事がつとまらんです

4 ヤレ〳〵 夜まはりのおぢさんだつたか きまりがわるいや

法人登記公告

長湍出張所

法人登記公告

商業登記公告

群山支廳

光州支廳

妻

小島政二郎作　【149】
宮田重雄繪

今日の佳き日（一）

鈴子を東京へ歸してしまつた後の櫻井の生活は、何と云はうか、蟬脫の殼のやうなものだつた。

「一週間したら、歸つて來ますわ。」

鈴子はさう云ひ殘して行つたけれど、もう永久に歸つて來ないことは櫻井自身よく知つてゐた。

「あゝ〳〵。」

これが櫻井が鈴子の爲めに志した最も望ましい最も雅ばしい最後の解決の姿であつた。

「お目出度う。」

櫻井は、土居の蒼白い手を握り締めながら云つた。

「僕は君を誤解して、――實はそのお詫びに來たのですが――」

「いや――」

「お詫びもお詫びだけど――あの戯曲を讀んで下すつたなら、くどくも申上げる必要はない。僕は何と云つて君にお禮を云つていゝか分らない。實は、君の顏が一目見たくつて、――いや、君の手を握り締めたくなつて飛んで來たんです。」

「有難う。僕も、あの戯曲を讀んで非常に嬉しかつた。ねえ、土居君、正直に云ふと、僕は一言發すさんにお禮を云つて戴きたいんだけれど――ら婆やさんがゐなかつたら、今日といふ日は來なかつたかも知れないと思ふんです。」

その點では、櫻井は目的を貫徹した喜びに溢れてゐた。

同時に、それを嬉しい鈴子を一つ屋根の下から永遠に失つた日であつた。

喜びの日が、同時に悲しみの日であつた。

「でも――」

彼は、自分の好きな女と一年近く一つ屋根の下で過しながら、過ちを犯さなかつたと云ふことが、別の意味で嬉しかつた。

幸ひと云はうか、また彼の主演すべき映畫の撮影が始まつて、日毎に多忙な體になつた。徹夜續きの日が續いた。

「先生。」

「うむ？」

「御面會です。」

さう云つて渡された名刺を一目見た時、徹夜に疲れた櫻井の頭がレモンの匂ひを嗅いだやうにスーツとした。名刺には、土居の名が印刷されてゐた。

「やあ、入らつしやい。」

應接室へ這入つて行くと、まだ病み上りの感じの拔け切れない土居が、婆やに附き添はれてそこに腰掛けてゐた。

「拜見しましたよ。」

櫻井は滿面に笑みを湛へながら云つた。

「そりや有難う。」

立ち上りながら、土居は手を差し伸べた。

RADIO

十三日（木）
第一放送

午前六時五五分　ニュース
同七時一分（東）基礎英語講座（二）
同七時三〇分（東）朝の修養　非常時に際りたる聖訓謹話（五）　其理董三郎
同七時五一分（東）ラヂオ體操
同八時一〇分　今日の天氣見込
同九時二〇分（城）氣象通報
同九時五五分（東）衛生メモ
同一〇時三〇分（東）母の時間　兵士と母　陸軍歩兵中佐　松井直二
正午（東）時報・外
午後零時五分（城）俚謡　三味線　山崎君子　李貞淑　吳英心
同零時三〇分　ニュース
木曾節、白頭節、鴨綠江節
同一時一五分　家庭の時間（朝鮮語・釜山）神經質の子供について　趙漢英
同二時三〇分（城）婦人の時間　美容の意義　貝沼雅子
同四時　ニュース・外
同四時三〇分（東）大相撲春場所實況（初日）両國々技館より中繼
同六時（東）お話〃歩〃　青木誠四郎
同六時二〇分（東）コドモの新聞
同六時二五分（時）講演　事變下の支那都市に就て　東亞同文書院副院長　馬場鍬太郎
同六時五五分（東）カレントトピックス
同七時　ニュース・外
同七時三〇分（東）國民唱歌指導　〃愛國行進曲〃　譚崎定之
同七時四〇分（東）講演　上海陸戰隊の奮闘を偲びて　海軍少佐　榮北明
同八時（東）謡曲〃草紙洗小町〃　シテ　喜多六平太　ワキ　寶多賢　貫之　栗谷益二郎　ナレ　佐藤章　子方　栗谷新太郎　地謡　栗谷益二郎外
同八時四〇分（東）管絃樂（現代日本の音樂第一回）
パロディ的な四樂章
ピアノ獨奏　井口基成
管絃樂　日本放送交響樂團
指揮　深井史郎
同九時（大）ラヂオコント
一、記念
男　進藤英太郎
女　毛利菊枝
二、休みの日
男　寺田靖夫
女　澁谷正代
三、はつゆき
毛利菊枝
進藤英太郎外
同九時三〇分（東）時報・ニュース・外
引續き（城）朝鮮語ニュース（釜山・淸津）
同一〇時（城）地方へのニュース・熊夜美談
同一〇時四〇分（城）ロシア語ニュース
同一〇時四五分（東）支那語ニュース
同一〇時五五分（東）英語ニュース

第二放送
午後零時五分　古談　宋迎沫
同一時一五分　家庭の時間　趙漢英
同六時　童話劇　黃心合
同六時三〇分　經典解説　金泰洽
同七時四〇分　講演　高永煥
同八時一〇分　小秀香歌　尹一枝　外
同八時四〇分（東）合唱
同九時　伽倻琴散調と併唱　沈相健

十四日（金）
あすのきもの

午後零時五分（城）長唄　都扇之助・外
同四時三〇分（東）大相撲春場所實況（二日目）
同六時（東）お話とうた「仲よしになつたドイツの子供たち」　在京ドイツ人兒童
同七時三〇分（東）國民唱歌指導〃愛國行進曲〃
同七時四〇分（東）舞臺劇―新宿第一劇場より中繼―勸進帳　片岡我當・外

オヂラ

ラヂオコント　9,00
毛利菊枝　外

一、記念　森本薫・作

米原驛で乘換へやうとする女の背物に手を貸してやつた男　女は男の革のネクタイから十五年の昔に別れた人だと思ひ出した。それはまのひとときに若い昔が二人の胸に甦つてくる。ハーピストだつた女が新潟で染物屋をはじめるべく出かけるのだ。それをとめた男は昔通りになれとすすめた。老ひこんだ事を知る女のひとみも昔の夢を追ふ。夢に醉ふ二人をはいつてきた汽車が現實に引戻される。

二、休みの日　山本紫朗・作

停車場で誰かをまつ女を見かけた男。これも人を待つ身で時間に容赦なく經つが二人の待つ人は遂に顏を見せなかつたが休日の快晴は二人をいたづらに待ちぼうけさせ

三、はつゆき　小川菊士・作

なかつた。告知板にまで書き殘した女は男の誘ひに應じてキネマ、食事と二人は夢通りの樂しさで近頃稀れな一日を過したが、別れ際の告白によると二人には待つ人なんか始めからなかつたのであつた

土地の名譽職まで勤めてゐながら齊藤の聞え高い叔父さんが早朝からやつてきた。出征部隊を見送る發車時間までのひとときである。臨時除隊になつたこの家の太郎君がその出征も知らないで家をあけたといふので大の不興である鍛の中の鐵砲がらまさうな匂ひをあげてゐるからでもあるまいがなかなか腕をあげやうとせず、細君を泣かしてしまひ、肝腎の見送りにもおくれてしまふ。そこられてゐた太郎君が立派に見送りをすませて朝寢ふんで顏かに戻つてくる

俚謡　端唄　0・05

木曾節　李貞淑

木曾のなかのりさん木曾の御嶽さん　は何じややらホイ夏でも寒い　袷せなかのりさん袷せやりたや何じややらホイ足袋を添へて　流れなかのりさん流れ來る身は何じややらホイ、チョイト木曾川へ

白頭節　吳英心

駒のひづめに雄心のせて行けや砂漠の果幾里明日はパミールの草枕　一人息子を戰地に送り今日も來るくゝ糸車　山川草木轉荒涼　十里風腥新戰場　征馬不進人不語　金州城外立斜陽　泣くな歎くなまたすぐ歸る桐の小箱に錦ざて逢ひに來て與れ九段坂

閑にこの白頭節は現在北支に活躍してゐる岡部少佐が陣中餘暇にはるかに聳ゆるパミール高原を望んで、ものした歌詞で部下と共に白頭山節と鴨綠江節で元氣よく合唱し、今では兵隊さんの合唱はパミール高原を撫席せんばかりに隆中に流行してゐるといふ

『音樂日本』の進軍【定期第一回演奏】　8・40

管絃樂　日本放送交響樂團
指揮　深井史郎
ピアノ獨奏　井口基成

『現代日本の音樂』は近來我が作曲界の目覺ましい進展とともに大編成の管絃樂曲も多數現はれる樣になつたが、發表の機會が極めて少なく、中にはそのまゝ埋れるものもある有樣なので、ここに毎月一回定期の時間を設けて日本人の作品を紹介するとともに、この作曲界の氣運を助長し、併せて一般の批判を求めるために企てられたものである

パロディ的な四樂章　深井史郎作曲

（1）ファリア（2）ストラヴィンスキー（3）ラヴェル（4）ルッセル

これは昨年度の新響コンクールで一等となつた作品。これは深井氏がかつて『五つのパロディ』としてラヂオで發表したことのある管絃樂曲、これを四つだけにして樂器編成に手を加へたもの、各作曲家の縮顔を描いたもので、巧にそれら作曲家の手法を模倣したピアノ協奏曲風の樂曲

京日特選棋譜（12）

先番　八段　雁金準一
相先　八段　高部道平

黒七十九より八十三迄

顏面頓に紅潮
覆面道人

八十三が打掛

寂として聲なく、靜かなること林の如き中にあつて盤上戰機益々熾烈を極め、時正に午後十時、黒白兩將の顏面紅潮を呈するに至つた

黒八十一は豫定の如く左下隅の一子擄獲に走り、白八十二と立ち黒八十三を以て打掛となつた。

一局部不安去る

この八十三迄の運びに依りて一局部から若干不安が去つたわけであるが、これが全局的安心でないことは云ふまでもない、更に雁金氏は、黒八十三で八十三のすぐ右とも考へたが、さうした黒地擴大は不可能だ、と卒直に感想を述べてゐる

多害豫想される

と云ふのは、黒八十三を八十三の一つ右とすると、その右方の白地を消すには役立つが、これでは白に（い）と打込まれる危險があり過ぎるほどで、利よりも寧ろ害が多い。雁金氏の思ひ直しはこの點に系る。

また全局的に安心が出來ないと云ふのは（ろ）と白に粘がれる手も殘つて居り、更に（は）と白に張られる手もあつて、その赴くところ計り難いものがある。で、樂觀は許されない。

入門第二日

ここで高部氏は、氏の入門第二日の思ひ出を述べたが、白八十二の手法は　碁を習ひ始めて二日目の後、父君の友人に學んだ。『その時私は十八歲。おやぢは初段に五目、その友人といふのはおやぢより三目弱い、彌兵衛といふ老人でした』と、いかにも懷かしげである。死もあれ、何の日くもなさゝうにチョンと立つた白八十二、入門第二日の教訓は嚴として生きてゐる。時に局面は微細の形勢……通念に從つて、後番の高部氏は雁金氏から込三目でも貰つておくべきか……。

商業及法人登記公告

京城地方法院

朝鮮郵船出帆

九州郵船出帆廣告

釜山出帆